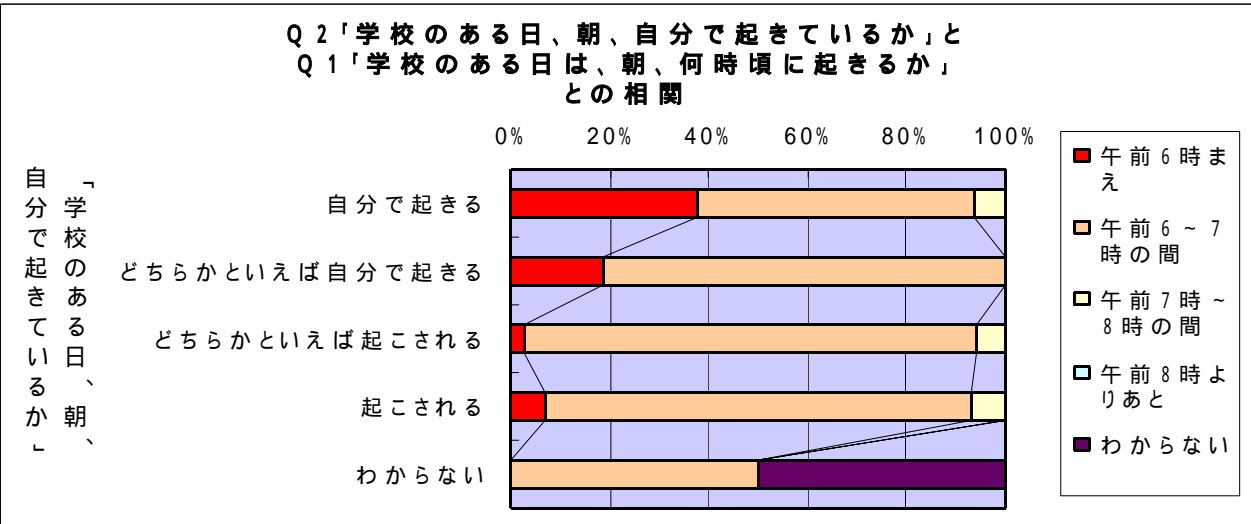
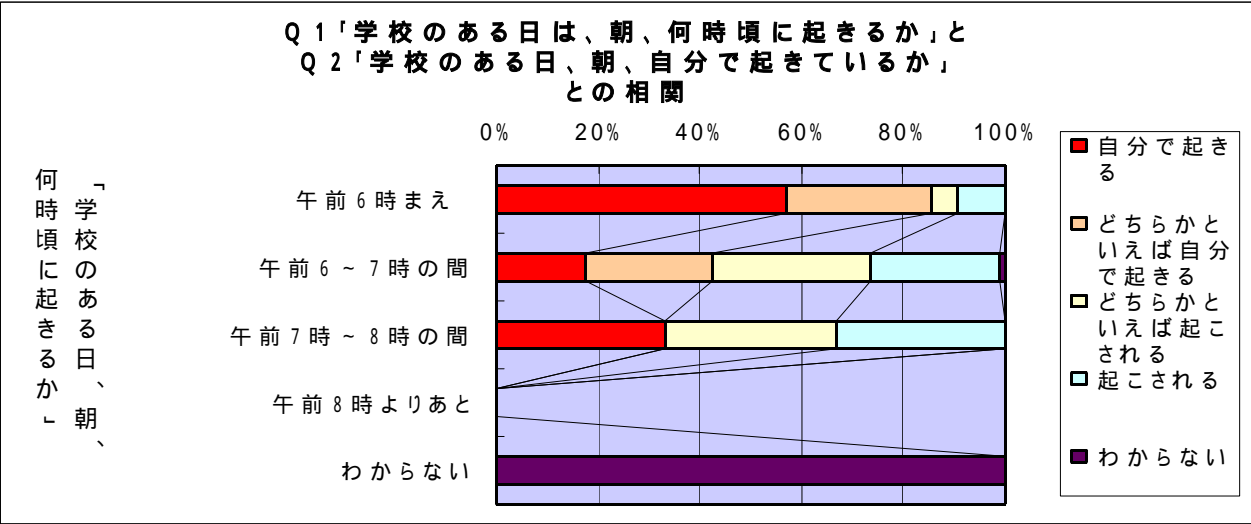


Q 1 学校のある日は、朝、だいたい何時ころに起きますか？

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？



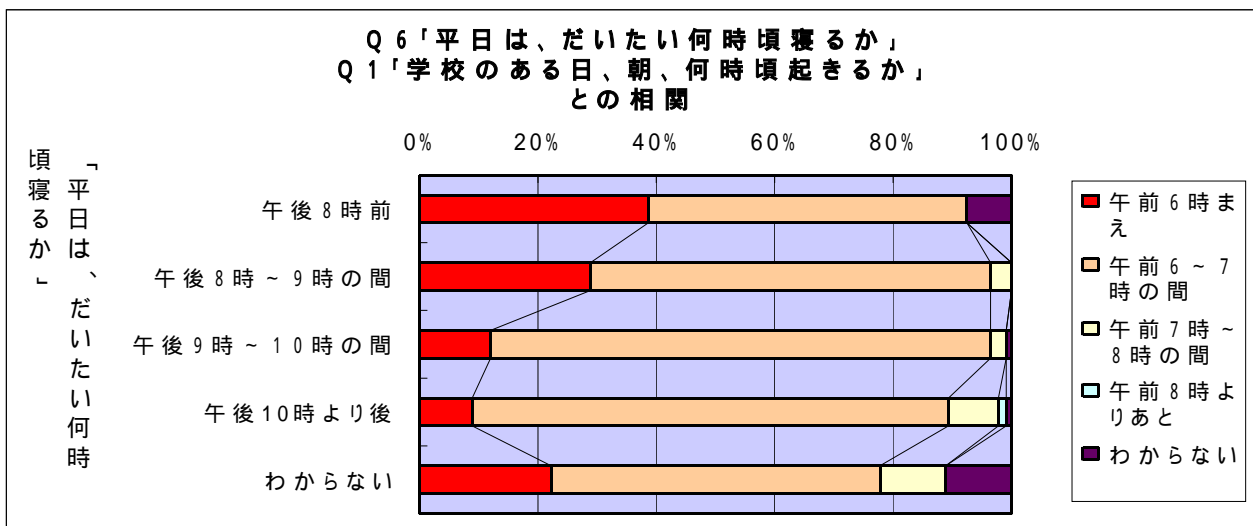
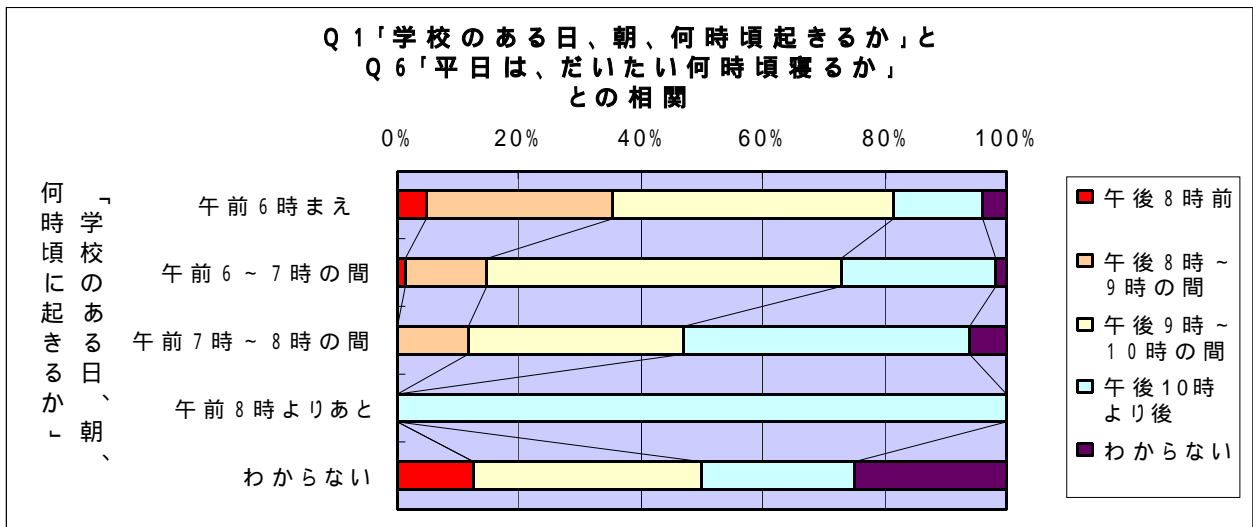
【Q 1 ⇨ Q 2】「学校のある日、朝、何時頃に起きますか」という設問に対して、「午前6時前」に起きると回答した子供の8割以上が「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という回答をしているが、「午前6時～7時の間」となるとその割合が半減する。起床時間が遅くなると、自分で起きる子供の割合が減少してくる。

【Q 2 ⇨ Q 1】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問について、「自分で起きる」と回答をした子供は、「午前6時前」に起きる割合が4割近くみられるが、「どちらかといえば自分で起きる」「どちらかといえば起こされる」という選択肢になると、その割合が減少してくる。「午前6時前」「午前6時～7時の間」に起きる子供を合わせた割合は、どの選択肢においても高い。

「午前6時前」など、より早い時間に起きる子供は、自分で起きる傾向がみられ、また、自分で起きる傾向の子供は、「午前6時前」など、より早い時間に起きる傾向がみられる。

Q1 学校のある日は、朝、だいたい何時ごろに起きますか？

Q6 平日は、夜、だいたい何時ごろに寝ますか？



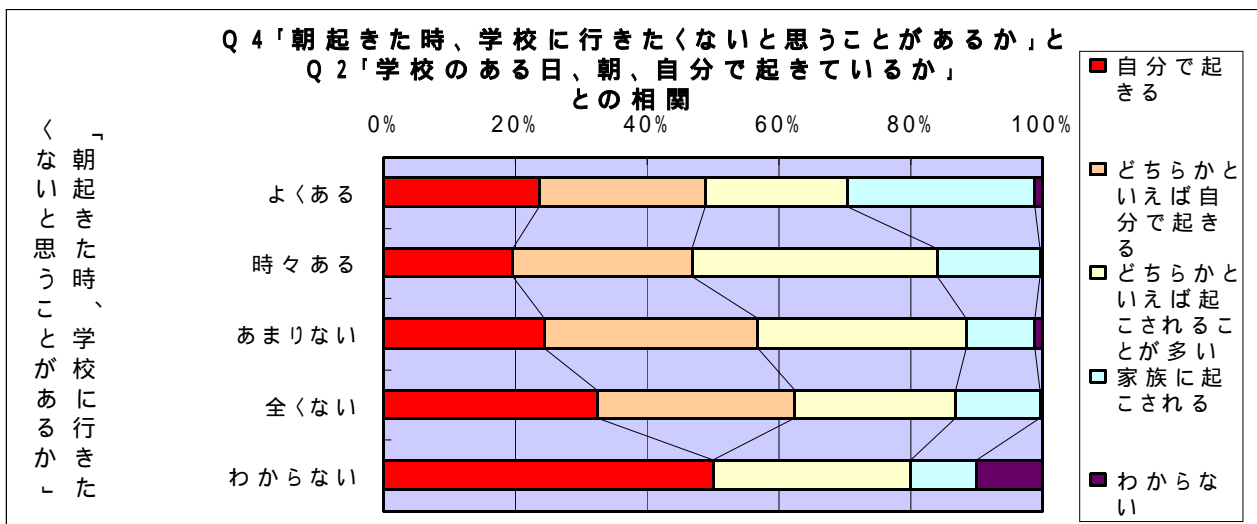
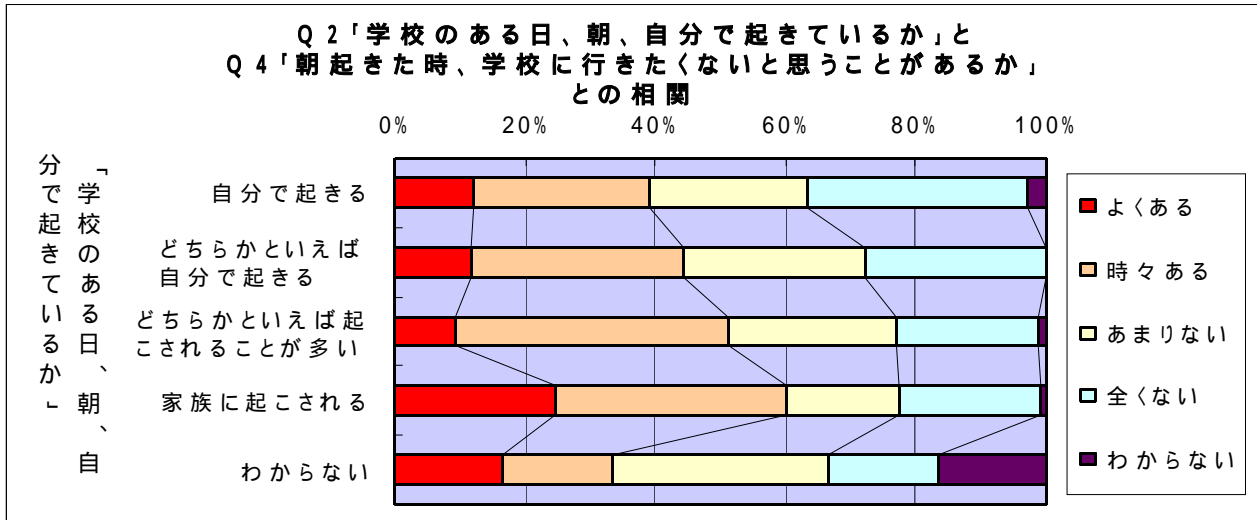
【Q1 ⇨ Q6】「学校のある日、朝、何時頃に起きるか」という設問に対して、「午後6時前」に起きると回答した子供の約8割は、「午後10時までに寝ているが、起きる時間が遅くなるほど、その割合は減少し、「午前8時よりあと」に起きる子供のすべてが「午後10時よりあと」に寝ている。

【Q6 ⇨ Q1】「平日は、だいたい何時頃寝るか」という設問に対して、「午後8時前」に寝ると回答した子供の約4割は「午前6時前」に起きていたが、寝る時間が遅くなるほど、その割合が減少してくる。「午前6時前」「午前6時～7時の間」に起きる子供を合わせた割合は、どの選択肢においても高い。

「午前6時前」など、早い時間に起きる子供ほど、おおむね早い時間に寝る傾向がみられる。

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



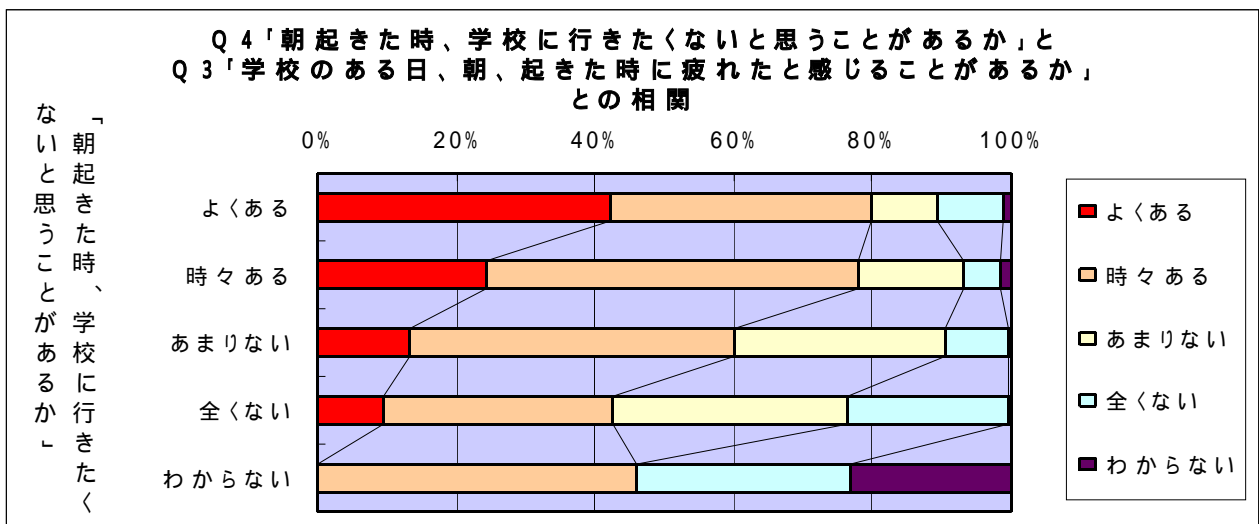
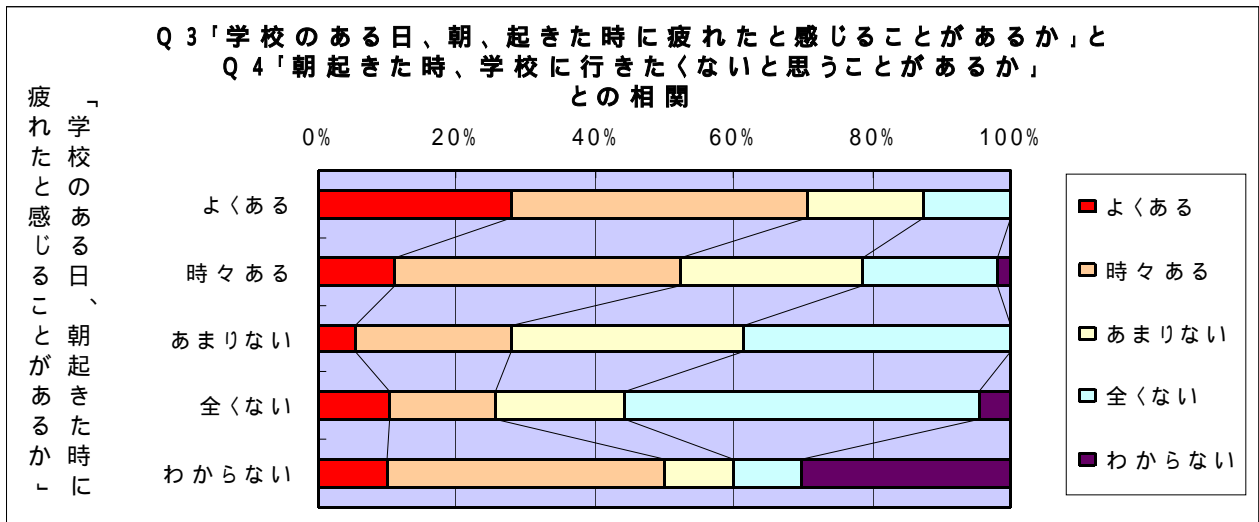
【Q 2 ⇨ Q 4】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問に対して、「どちらかといえば起こされることが多い」「起こされる」という否定的な回答をした子供は、肯定的な回答の子供より、「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q 4 ⇨ Q 2】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という肯定的な回答の割合が低い、大きな差はみられない。

「朝、起こされる」傾向にある子供は、「朝、学校に行きたくないと思う」ことが比較的多くみられ、また、「朝、学校に行きたくないと思う」ことがある子供は、「朝、起こされる」傾向がみられる。

Q3 学校のある日、朝起きた時に疲れていると感じることがありますか？

Q4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



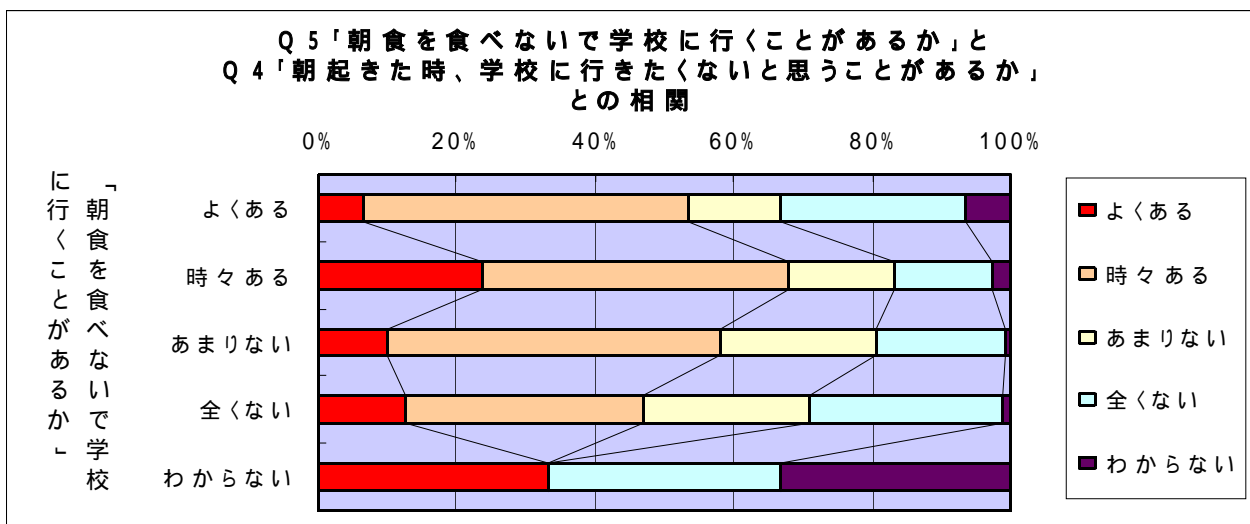
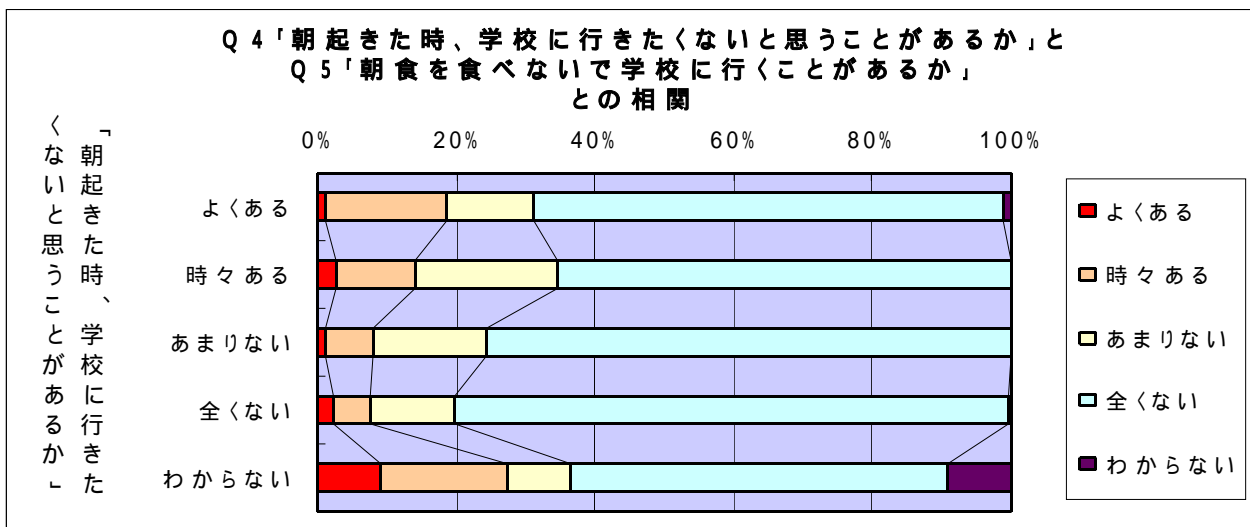
【Q3 ⇨ Q4】「朝、起きたとき疲れたと感じることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q4 ⇨ Q3】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、起きたとき疲れたと感じることがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」子供は、「朝、学校に行きたくないと思うことがある」という傾向がみられ、また「朝、学校に行きたくないと思うことがある」子供は、「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」という傾向がみられる。

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？



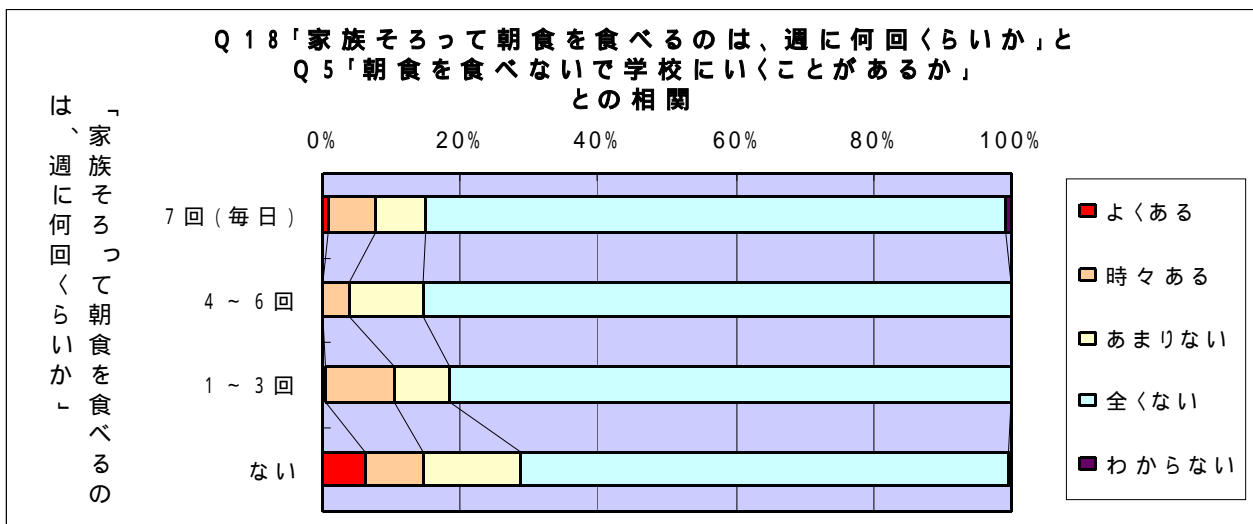
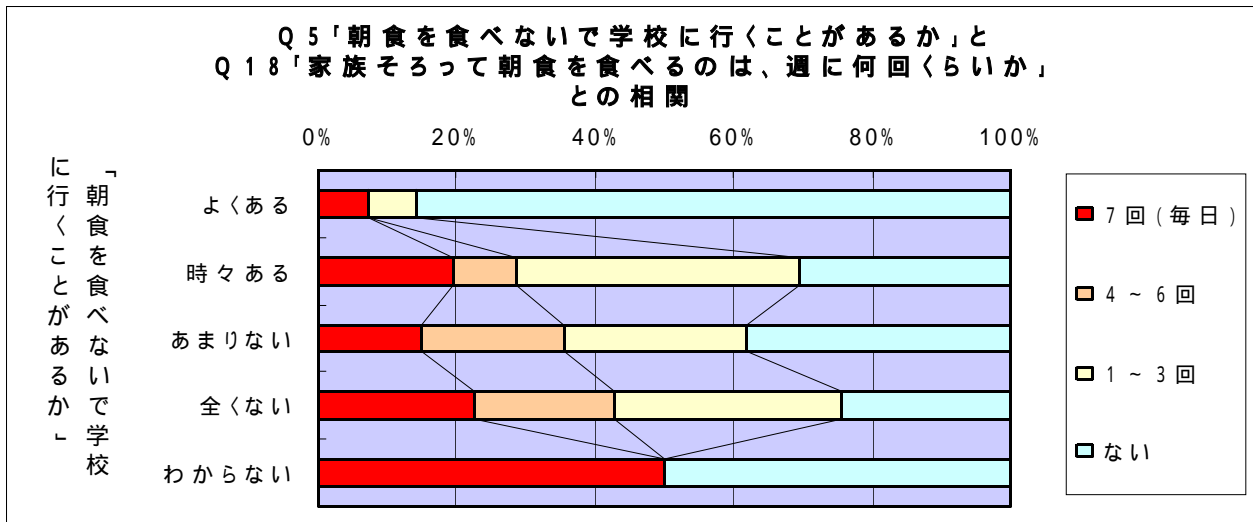
【Q 4 ⇨ Q 5】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、少ない割合であり、「朝、学校に行きたくないと思うこと」にかかわらず、ほとんどの子供は朝食を食べて学校に行っている。

【Q 5 ⇨ Q 4】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「時々ある」という回答をした子供は、「朝起きたとき、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」にかかわらず、肯定的な回答が半数程度みられる。

「朝、学校に行きたくないと思うこと」にかかわらず、子供たちは、朝食を食べて学校に行く傾向がみられ、また、「学校に行く時、朝食を食べるか」どうかにかかわらず、「朝、学校に行きたくないと思うこと」があるという傾向がみられる。

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？

Q18 あなたの家では、家族みんながそろって朝食を食べるのは、週に何回くらいありますか？



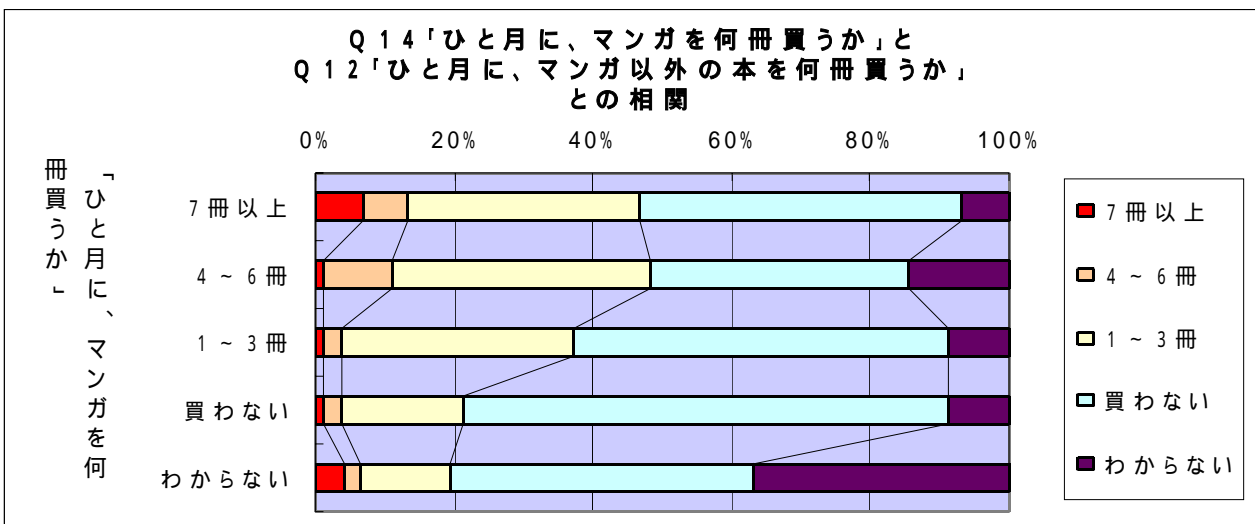
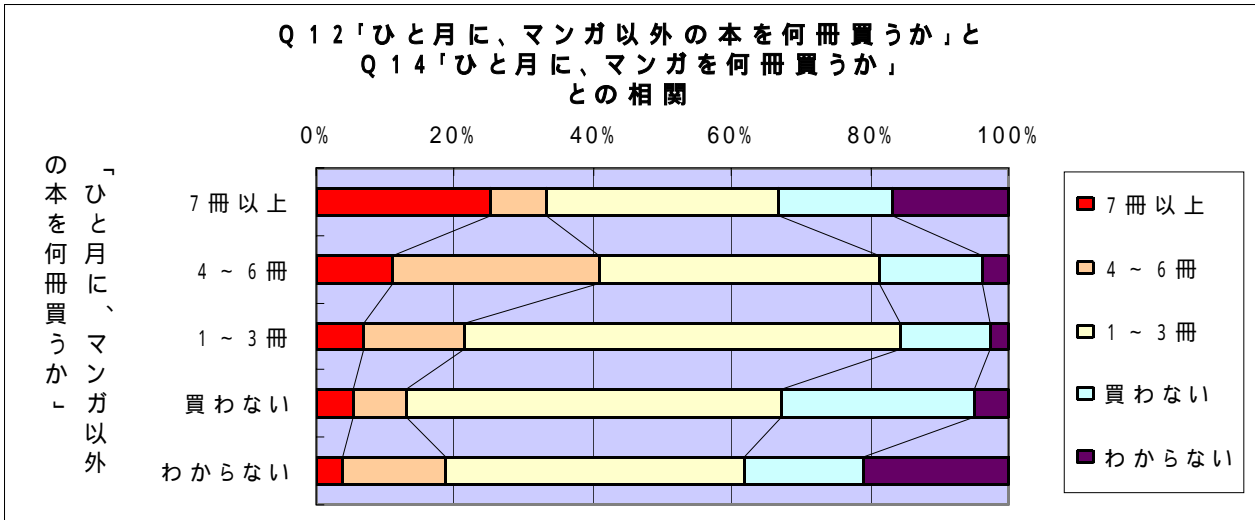
【Q 5 ⇨ Q18】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供（朝食を食べて学校に行く子供）は、肯定的な回答の子供より、家族そろって朝食を食べる回数が「7回（毎日）」「4～6回」と比較的多い選択肢を回答する割合が高い。「よくある」という回答の子供における家族そろって朝食を食べる回数が「全くない」という回答の割合は、8割を超える。

【Q18 ⇨ Q 5】「家族そろって朝食を食べるのは、週に何回くらいか」という設問に対して、「1～3回」「全くない」と回答した子供は、「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、「7回（毎日）」「4～6回」に対する回答の割合と大きな差は少なく、「家族そろって朝食を食べること」にかかわらず、ほとんどの子供は朝食を食べて学校に行っている。

「朝食を食べて学校に行く」傾向の子供は、「家族そろって朝食を食べる」回数も比較的多い。

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を買いますか？

Q14 ひと月に、何冊くらいマンガ本を買いますか？



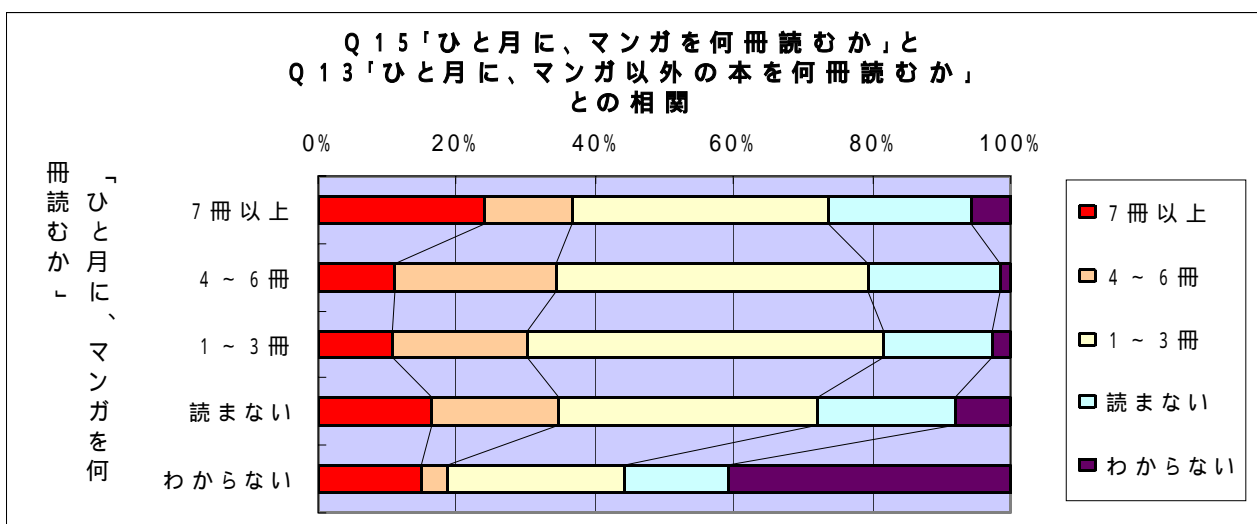
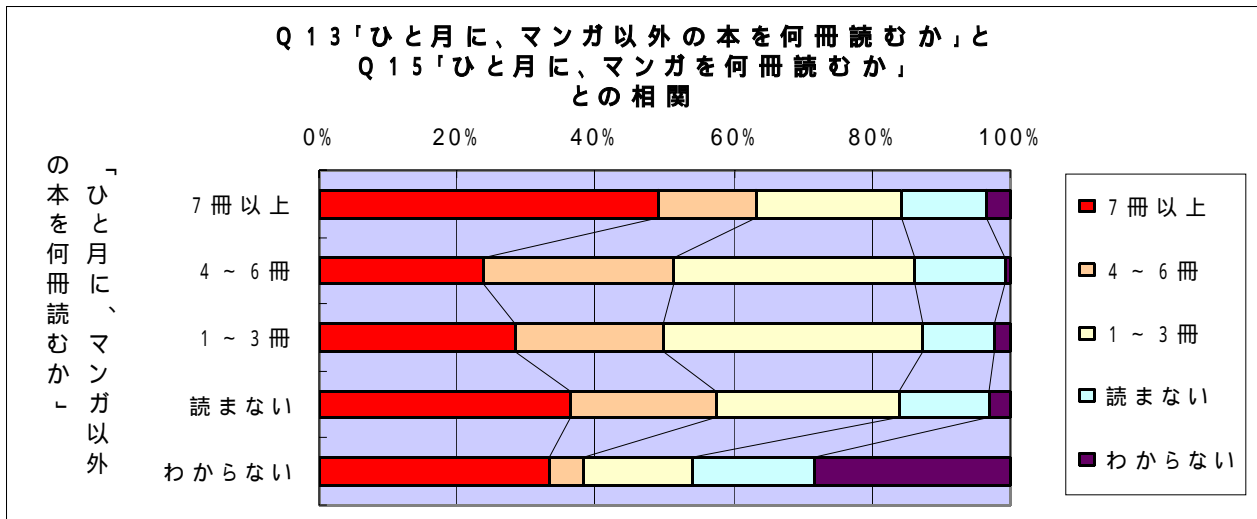
【Q12 ⇨ Q14】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」という設問に対して、「4～6冊」「1～3冊」という回答をした子供は、「7冊以上」「買わない」という回答の子供より、マンガを買う割合は高い。「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」にかかわらず、マンガを買う子供の割合は、比較的高い。

【Q14 ⇨ Q12】「ひと月に、マンガを何冊買うか」という設問に対して、「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「買わない」という回答の子供より、マンガ以外の本を買う割合が高い。しかし「ひと月に、マンガを何冊買うか」にかかわらず、「マンガ以外の本を買わない」という回答の割合が「買う」割合より多い。

「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」にかかわらず、子供はマンガを買う傾向がおおむねみられる。また、多くの「マンガを買う」傾向にある子供は、マンガ以外の本も買う傾向がみられるが、「マンガ以外の本は買わない」子供の割合が顕著である。

Q13 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？

Q15 ひと月に、何冊くらいマンガ本を読みますか？



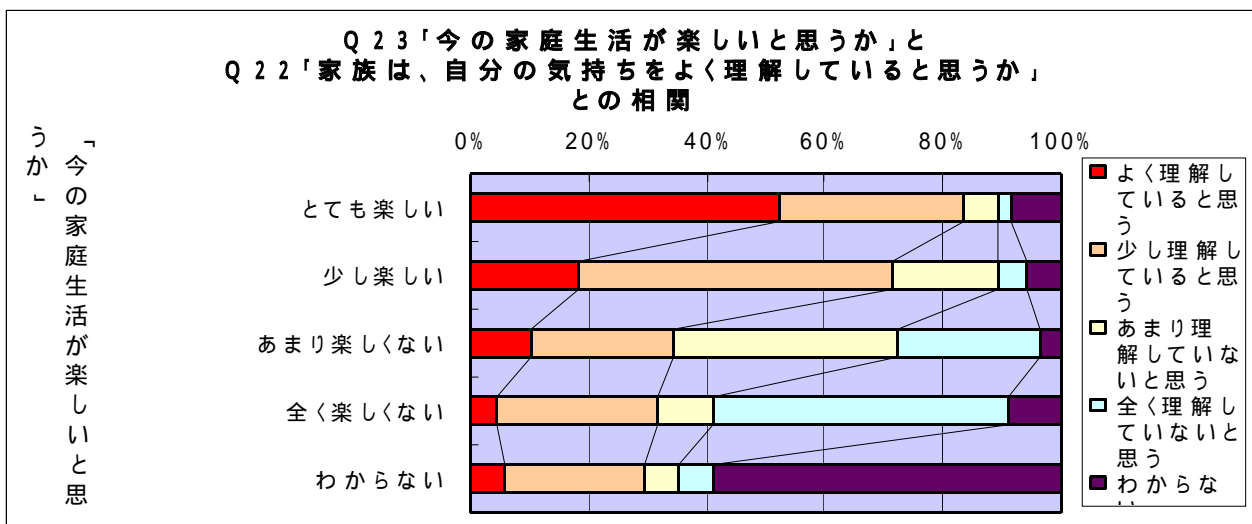
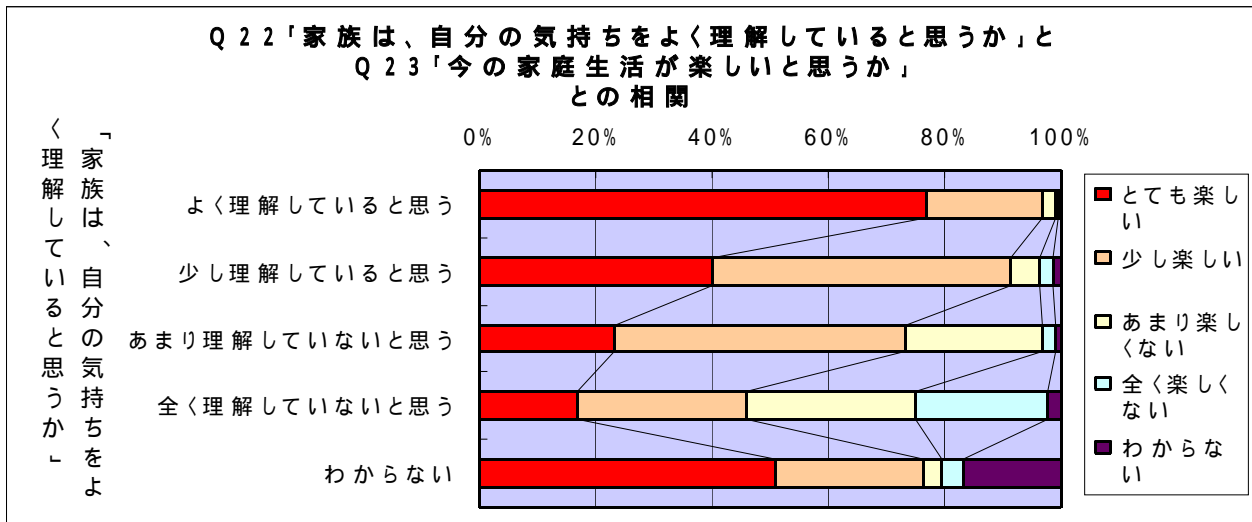
【Q13 ⇨ Q15】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」という設問に対して、マンガ以外の本を読む冊数にかかわらず、マンガを読んでいる子供の割合は8割を超え、4冊以上読んでいる子供の割合は、5～6割程度みられる。

【Q15 ⇨ Q13】「ひと月に、マンガを何冊読むか」という設問に対して、マンガを読む冊数にかかわらず、マンガ以外の本を読んでいる子供の割合は7～8割程度みられ、4冊以上読んでいる子供の割合は、3～4割程度である。

「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」にかかわらず、子供はマンガを読む傾向がみられ、また、「ひと月に、マンガを何冊読むか」にかかわらず、子供は、マンガ以外の本を読む傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？



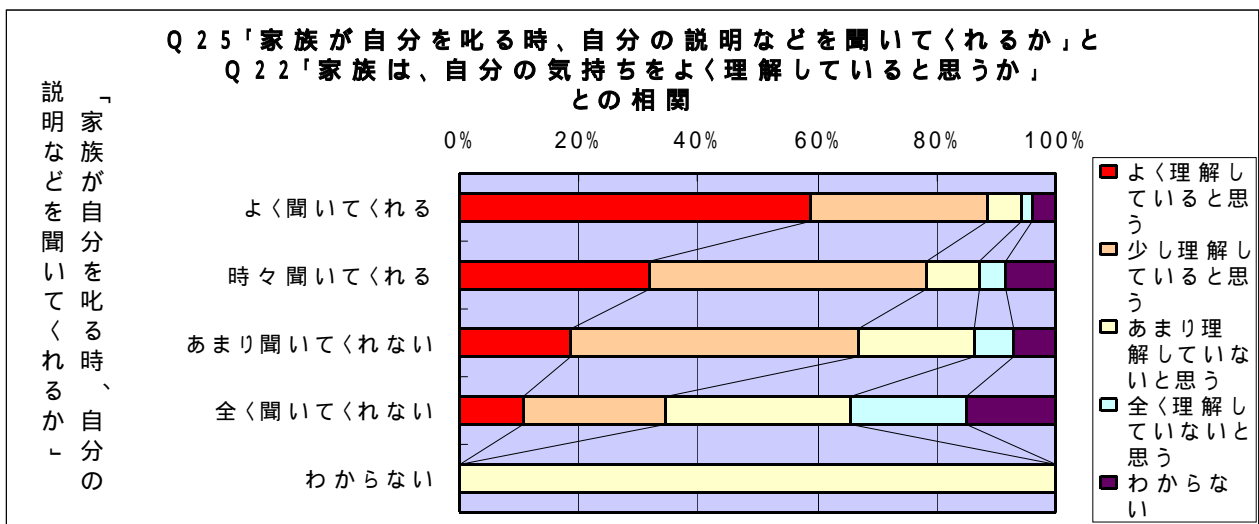
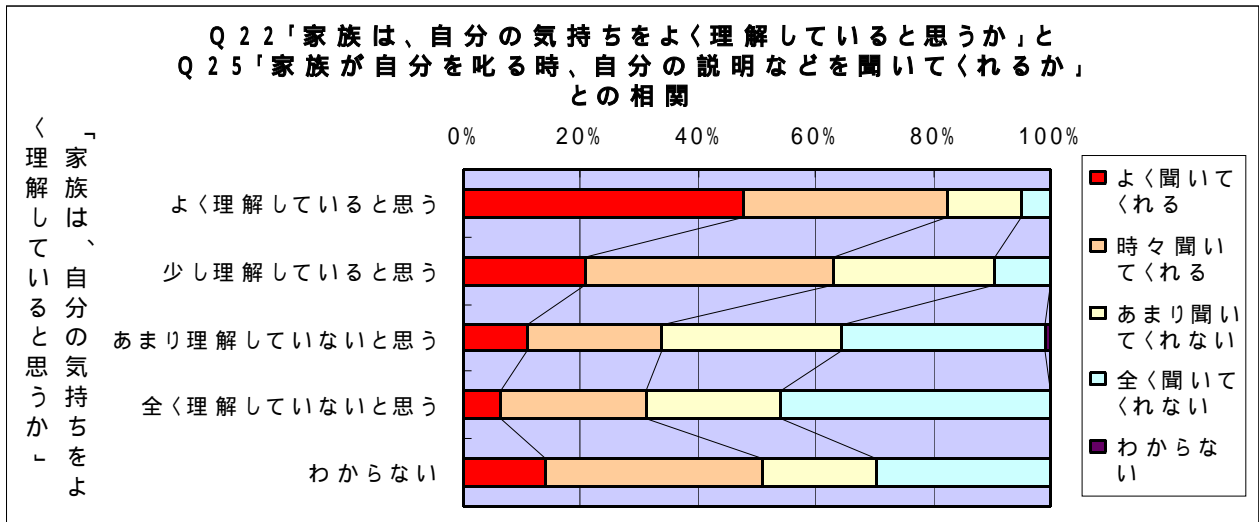
【Q22 ⇨ Q23】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q23 ⇨ Q22】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「家族は自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられ、また、「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q25 あなたの家族があなたを叱る時あなたの説明や理由を聞いてくれますか？



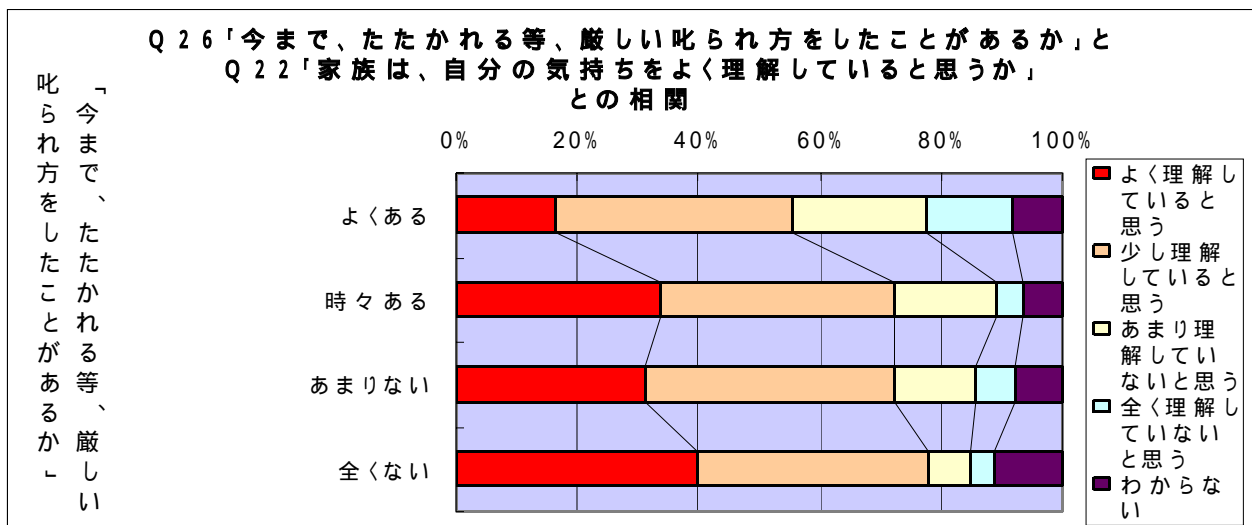
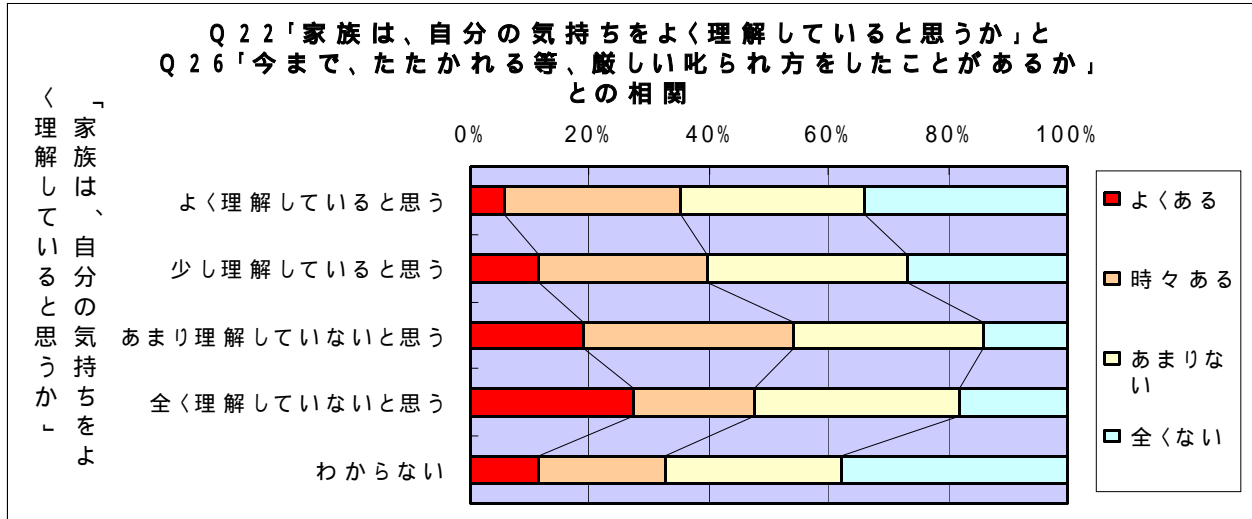
【Q22⇨Q25】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「自分の説明などをよく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q25⇨Q22】「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれるか」という設問に対して、「よく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は、自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている傾向がみられ、また、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q26 あなたは、今までに、家で^{きび}しいかられ方（例えば、たたかれたり、外に出されたりするなど）をしたことがありますか？



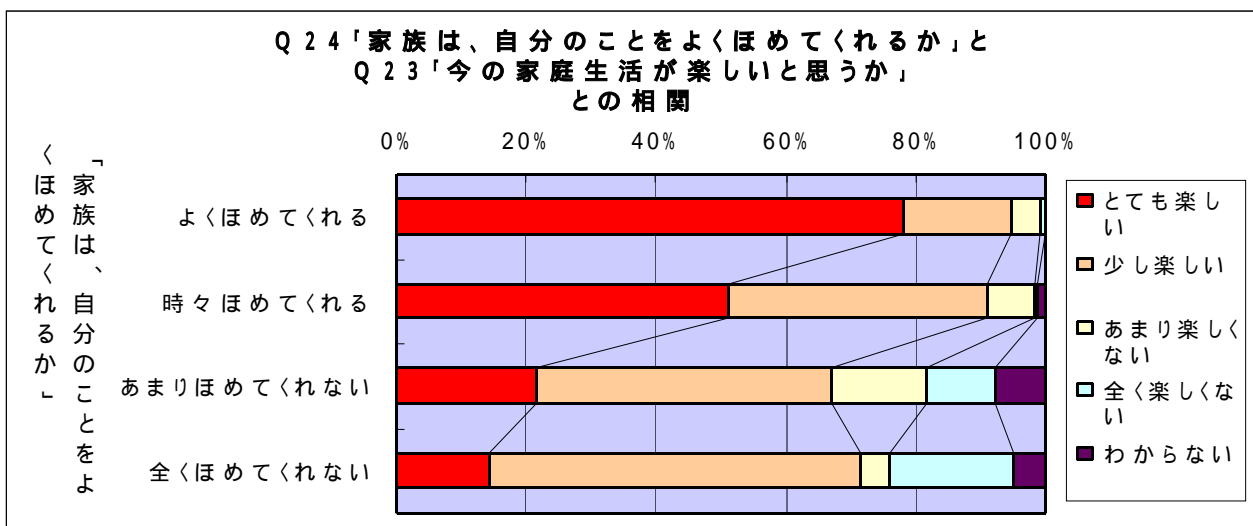
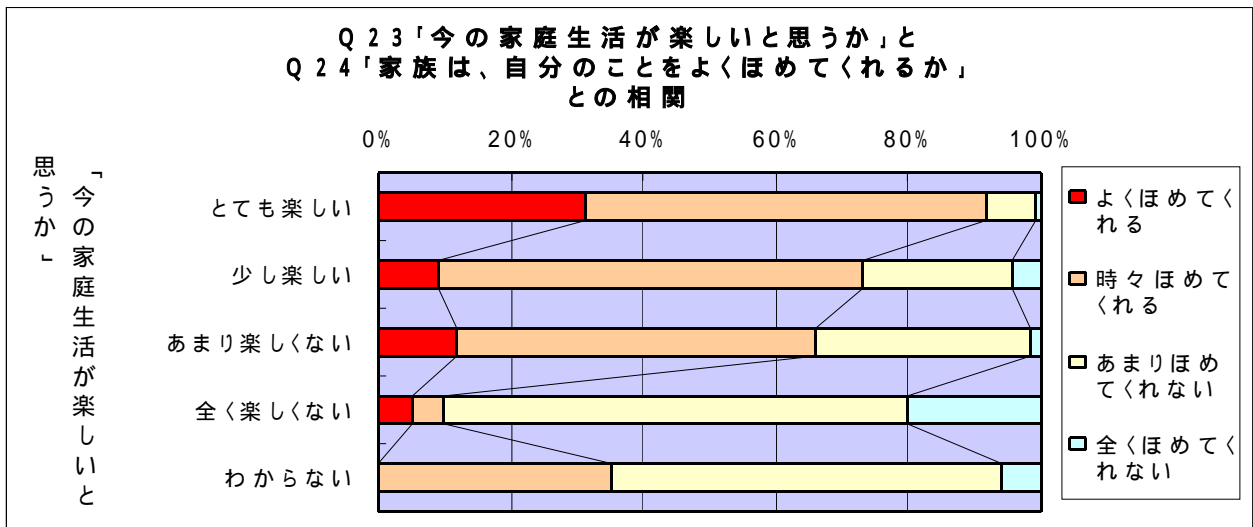
【Q22 ⇨ Q26】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「あまり理解していないと思う」「全く理解していないと思う」という否定的な回答をした子供は、肯定的な回答の子供より、「たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q26 ⇨ Q22】「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供は、「家族は、自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがあまりない・全くない」という子供が多く、また、逆にそのような子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がおおむねみられる。

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？

Q24 あなたの家族は、あなたのことをよくほめてくれますか？



【Q23 ⇨ Q24】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は自分のことをよくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

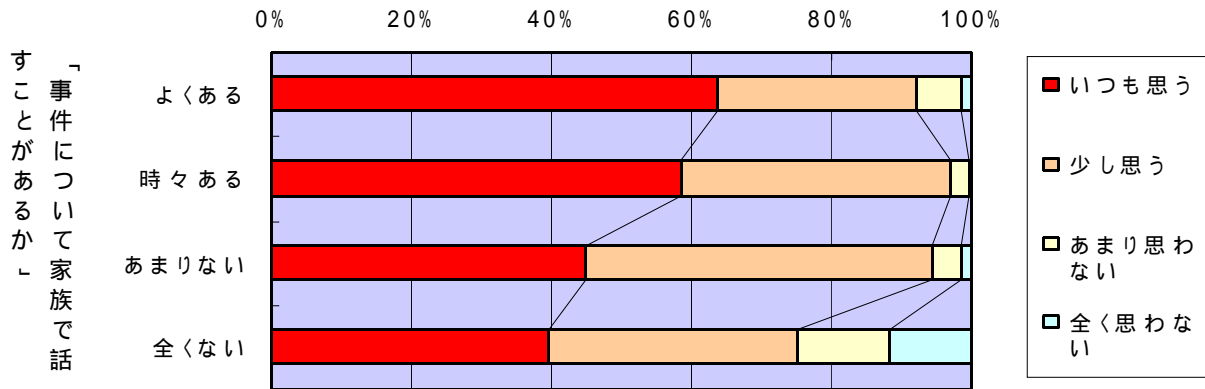
【Q24 ⇨ Q23】「家族は、自分のことをほめてくれるか」という設問に対して、「よくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。「全くほめてくれない」という回答の子供における「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合も比較的高い。

「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答する傾向がみられ、また、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答している子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられる。

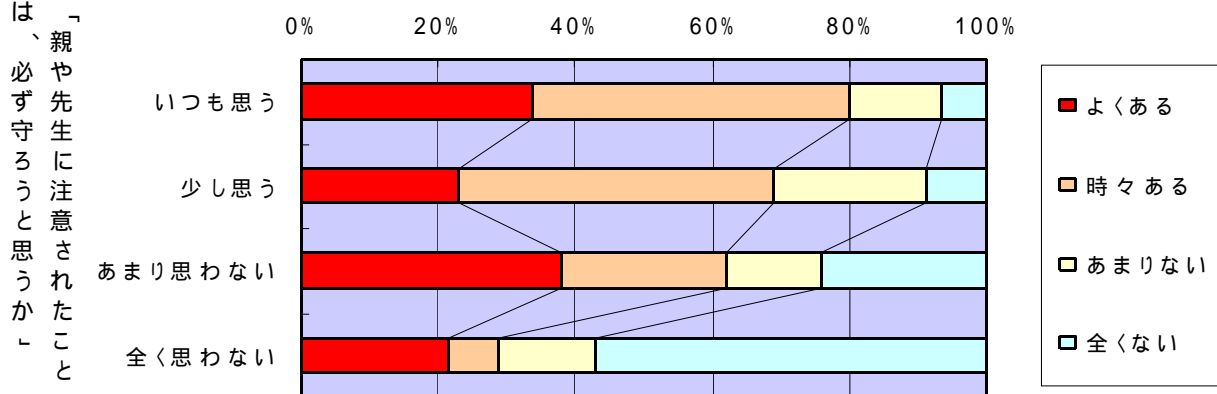
Q29 子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがありますか？

Q30 あなたは、事件や事故の被害を受けないようにするために、先生や家族に注意されたことは、必ず守ろうと思いますか？

Q29「事件等について家族で話すことがあるか」と
Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」
との相関



Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」と
Q29「事件等について家族で話すことがあるか」
との相関



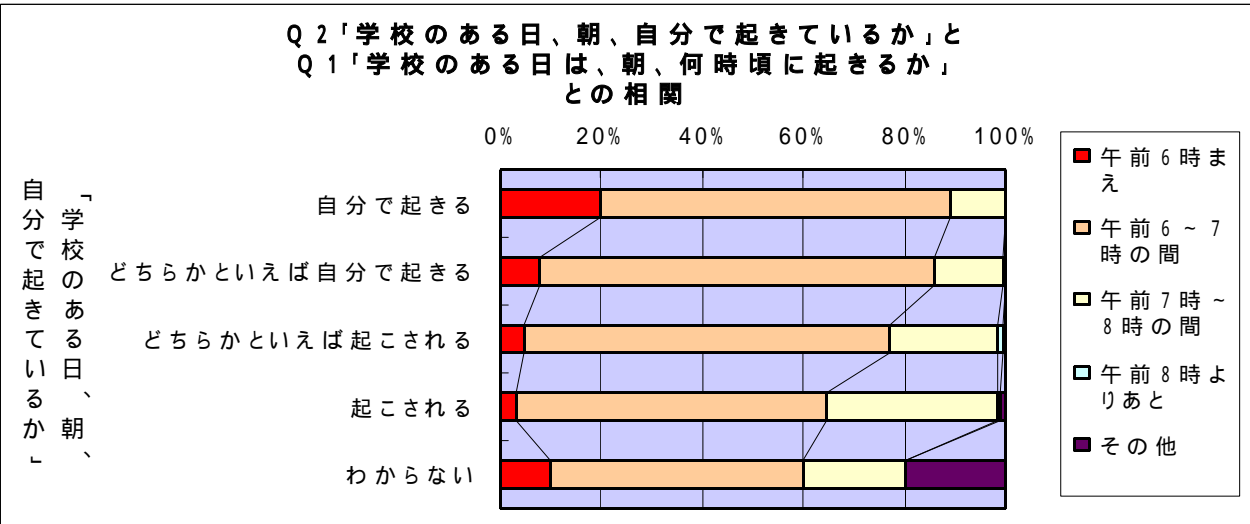
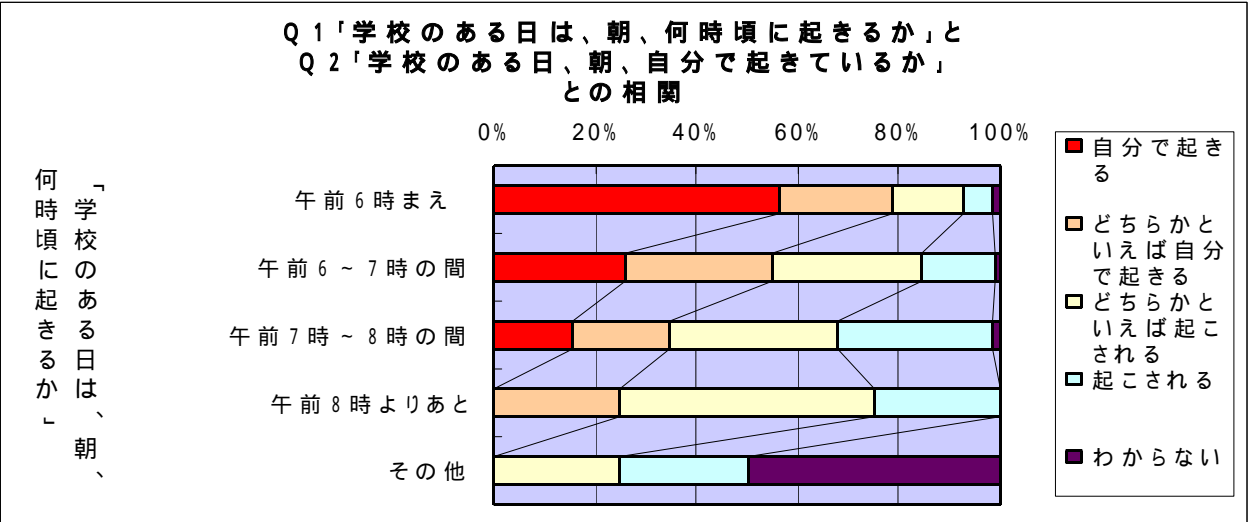
【Q29 ⇨ Q30】「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」といつも思っている」「少し思っている」という回答の割合が高いが、「あまりない」という回答の子供における割合も高い。

【Q30 ⇨ Q29】「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」という設問に対して、「いつも思っている」「少し思っている」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがよくある」「時々ある」という回答の割合が高い。

「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすること」が少ない子供でも、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思う傾向がみられ、また、親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思っている子供は、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をしている」実態がうかがえる。

Q1 学校のある日は、朝、だいたい何時ごろに起きますか？

Q2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？



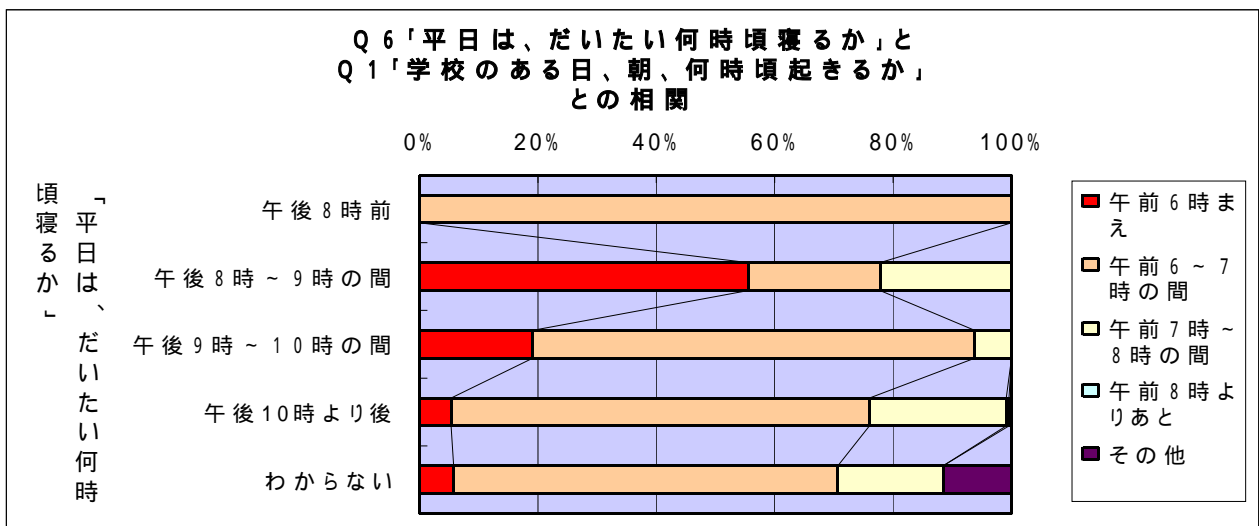
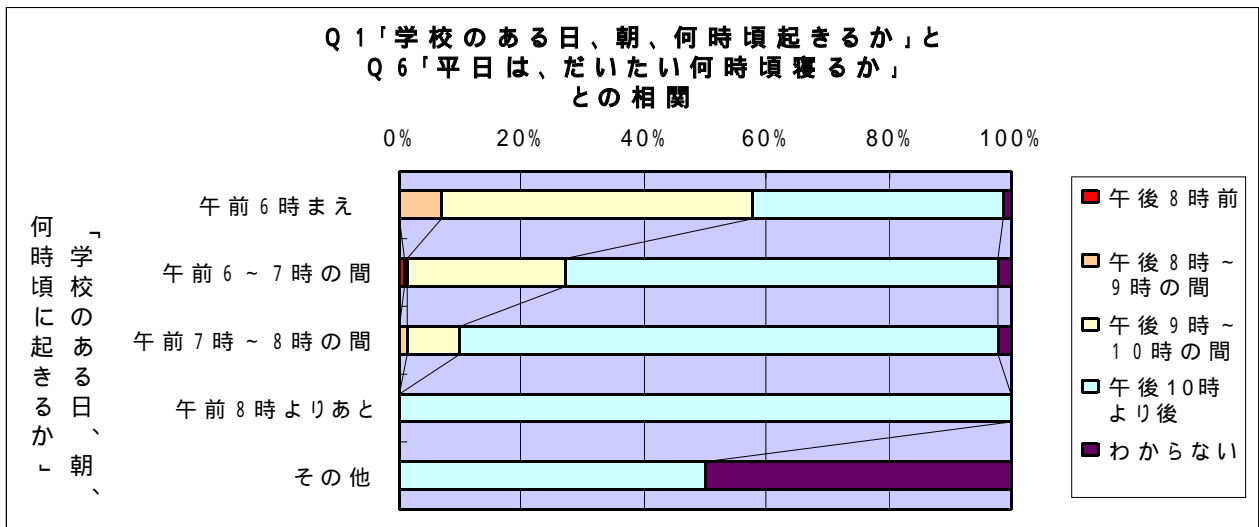
【Q1 ⇨ Q2】「学校のある日、朝、何時頃に起きますか」という設問に対して、「午前6時前」に起きると回答した子供の約8割が「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という回答しており、起床時間が遅くなると、「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という回答の割合が減少してくる。

【Q2 ⇨ Q1】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問について、「自分で起きる」と回答をした子供の約9割は、「午前7時まで」に起きると回答しているが、「どちらかといえば自分で起きる」「どちらかといえば起こされる」という選択肢になると、その割合が徐々に減少してくる。

「午前6時前」など、より早い時間に起きる子供は、自分で起きる傾向がみられ、また、自分で起きる傾向の子供は、「午前6時前」など、より早い時間に起きる傾向がみられる。

Q1 学校のある日は、朝、だいたい何時ごろに起きますか？

Q6 平日は、夜、だいたい何時ごろに寝ますか？



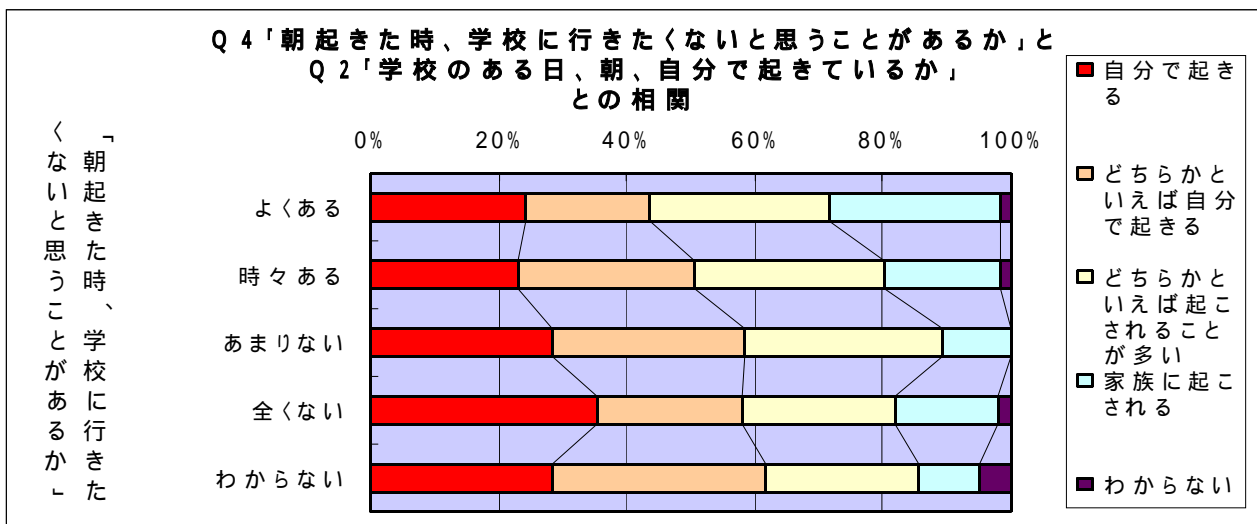
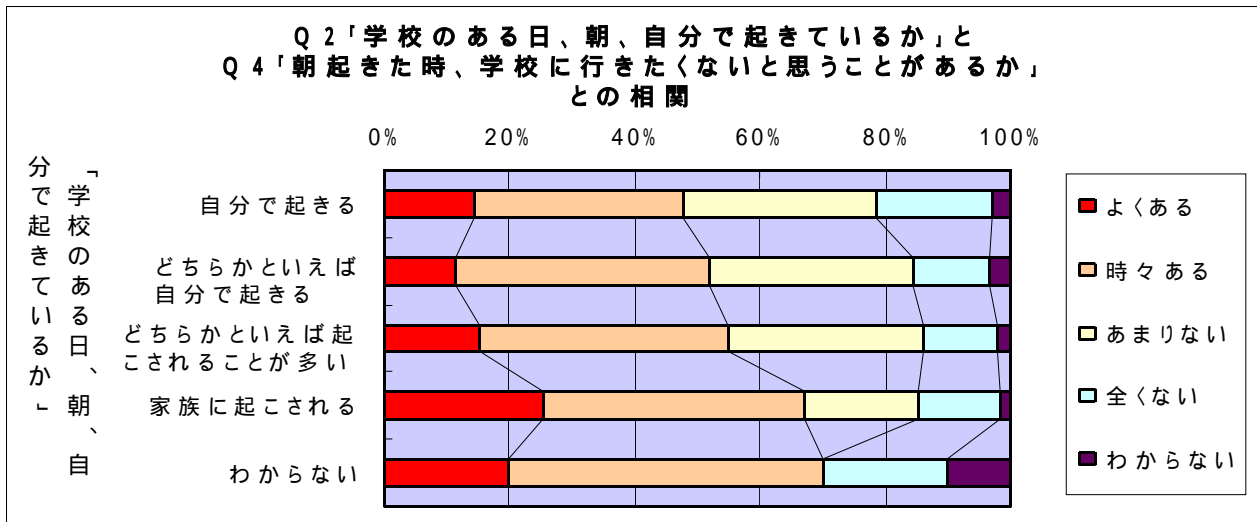
【Q1 ⇨ Q6】「午前6時前」に起きる子供の約半数は、午後10時までに寝ているが、「午前6時～7時の間」に起きる子供の約3割、「午前8時より後」に起きる子供のすべてが「午後10時より後」に寝ている。

【Q6 ⇨ Q1】「午後8時～9時の間」に寝る子供は、「午前6時前」に起きる割合が非常に高いが、寝る時間が遅くなるほど、その割合が減少する傾向にある。「午後8時前」「午後9時～10時の間」に寝る子供において、午前7時まで起きる割合が高い。

「午前6時前」など、早い時間に起きる子供は、おおむね早い時間に寝る傾向がみられるが、「午後10時より後」に寝る子供が多い。また、「午後8時～9時の間」など、比較的早い時間に寝る子供は、「午前6時」に起きる割合が高いが、寝る時間にかかわらず、午前7時まで起きる子供の割合は比較的高い。

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



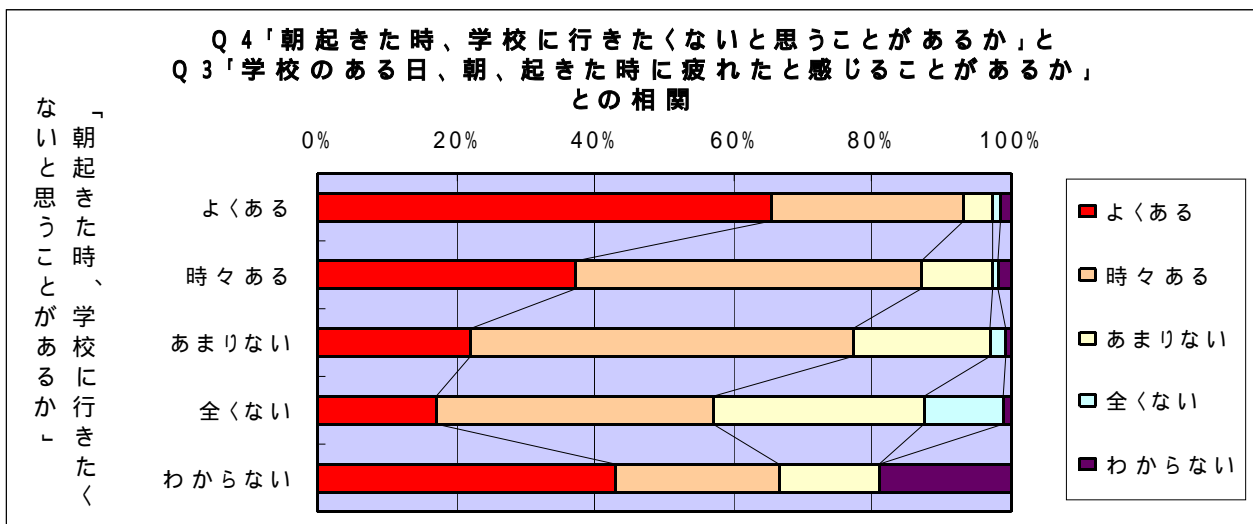
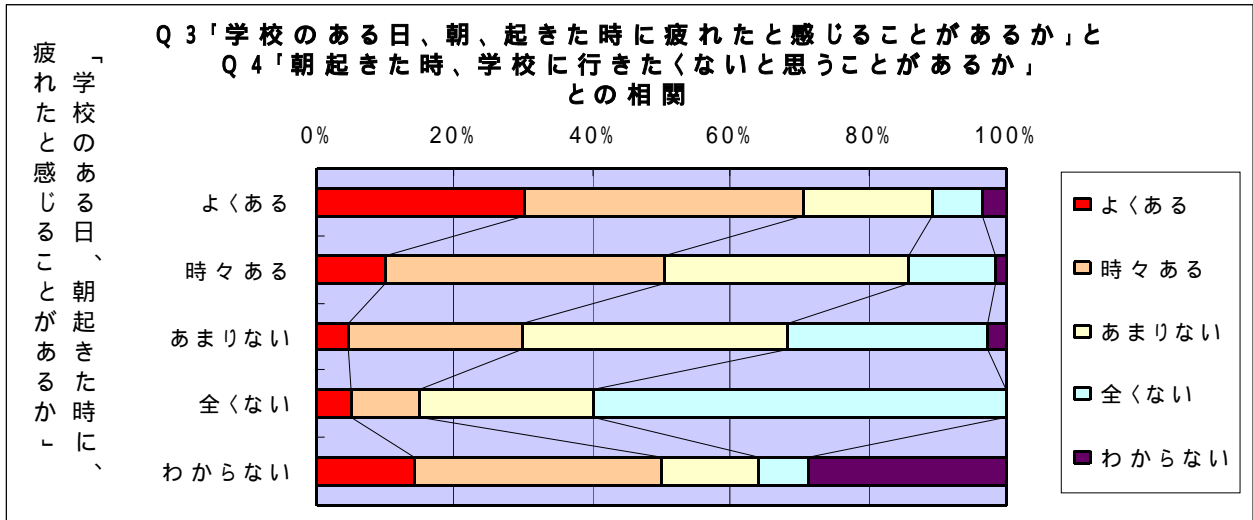
【Q 2 ⇨ Q 4】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問に対して、「どちらかといえば起こされることが多い」「起こされる」という否定的な回答をした子供は、肯定的な回答の子供より、「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q 4 ⇨ Q 2】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という肯定的な回答の割合が低い、大きな差はみられない。

「朝、起こされる」傾向にある子供は、「朝、学校に行きたくないと思う」ことが比較的多くみられ、また、「朝、学校に行きたくないと思う」ことがある子供は、「朝、起こされる」傾向がみられる。

Q3 学校のある日、朝起きた時に疲れていると感じることがありますか？

Q4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



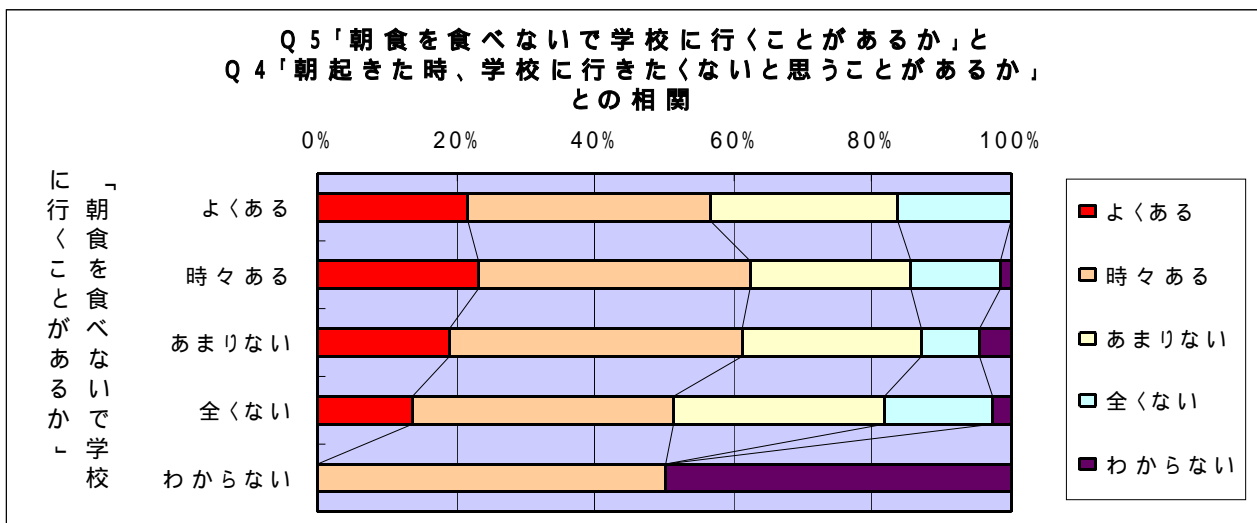
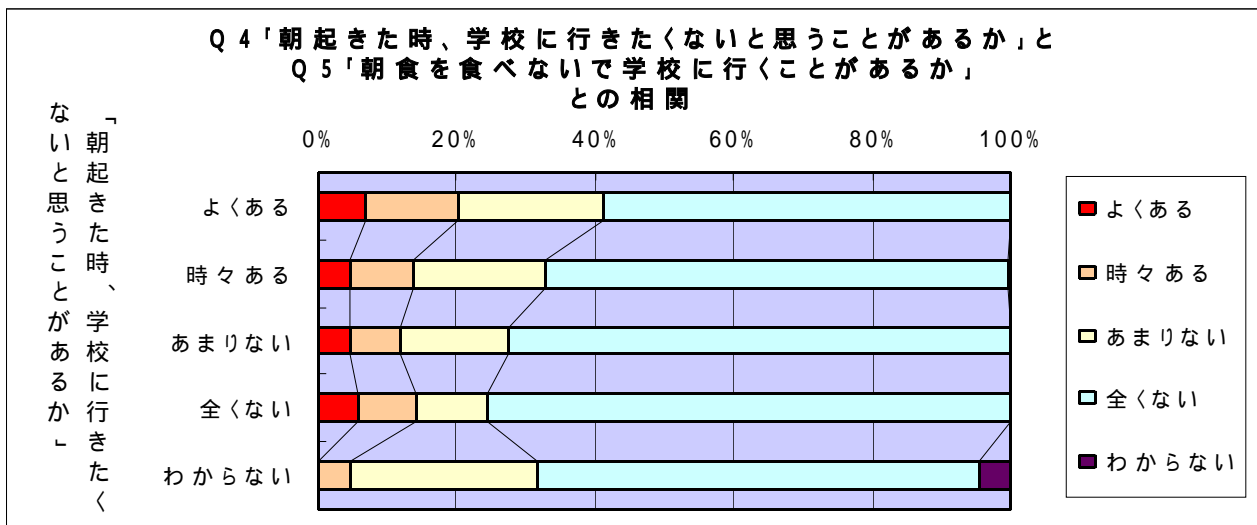
【Q3 ⇨ Q4】「朝、起きたとき疲れたと感じることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q4 ⇨ Q3】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、起きたとき疲れたと感じることがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」子供は、「朝、学校に行きたくないと思うことがある」という傾向がみられ、また「朝、学校に行きたくないと思うことがある」子供は、「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」という傾向がみられる。

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？



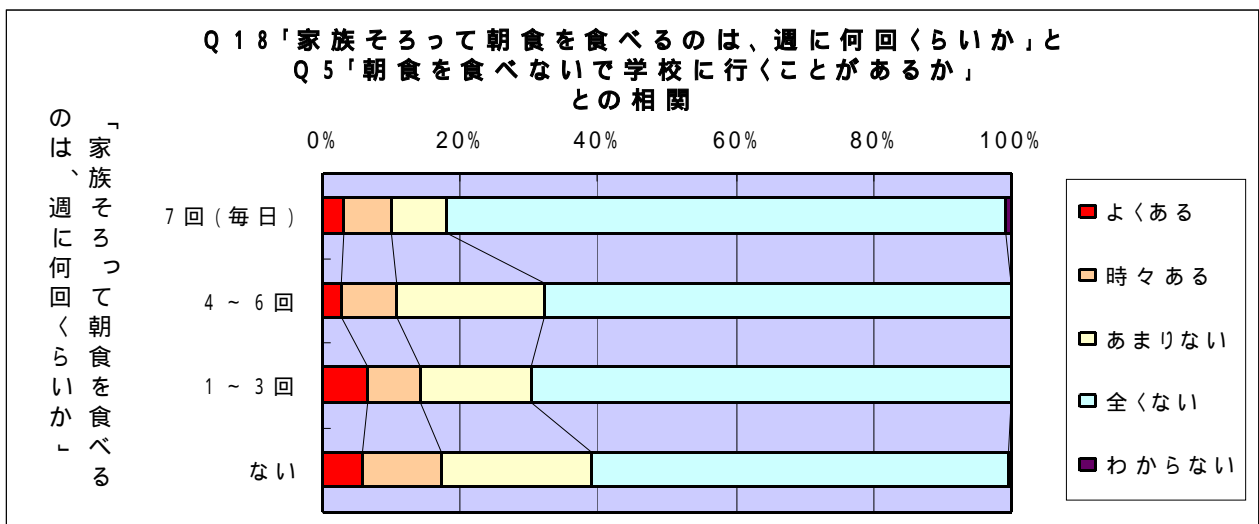
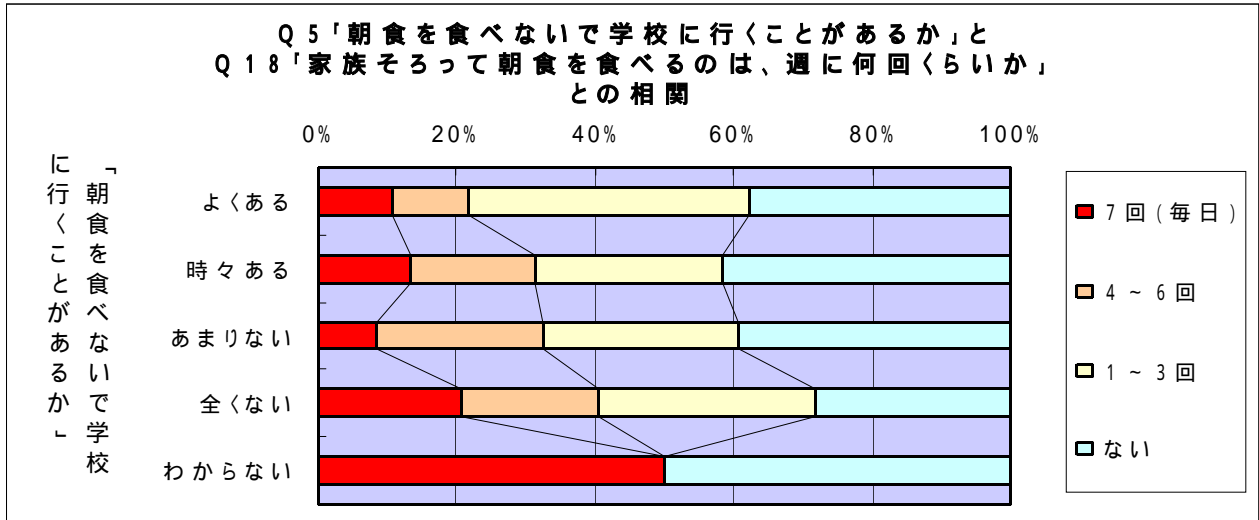
【Q 4 ⇨ Q 5】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、少ない割合であり、特に「朝、学校に行きたくないと思うこと」にかかわらず、ほとんどの子供は朝食を食べて学校に行っている。

【Q 5 ⇨ Q 4】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」「あまりない」という回答をした子供は、「朝起きたとき、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答が6割程度みられるが、「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」にかかわらず、大きな差はみられない。

「朝、学校に行きたくないと思うこと」にかかわらず、子供たちは、おおむね朝食を食べて学校に行く傾向がみられ、また、「学校に行く時、朝食を食べるか」どうかにかかわらず、「朝、学校に行きたくないと思うこと」があるという傾向がみられる。

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？

Q18 あなたの家では、家族みんながそろって朝食を食べるのは、週に何回くらいありますか？



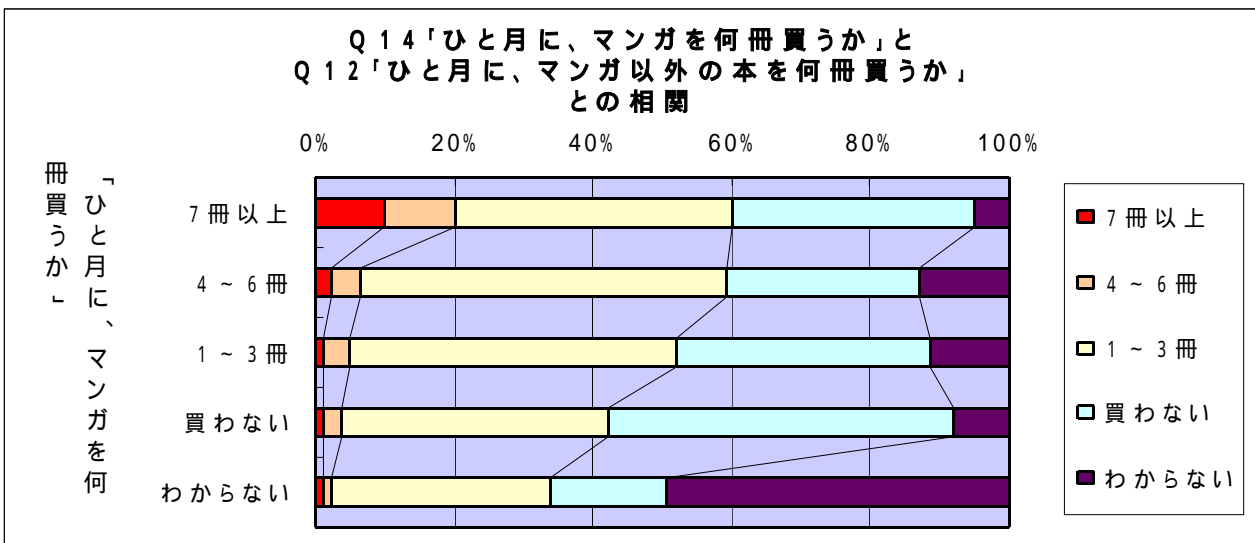
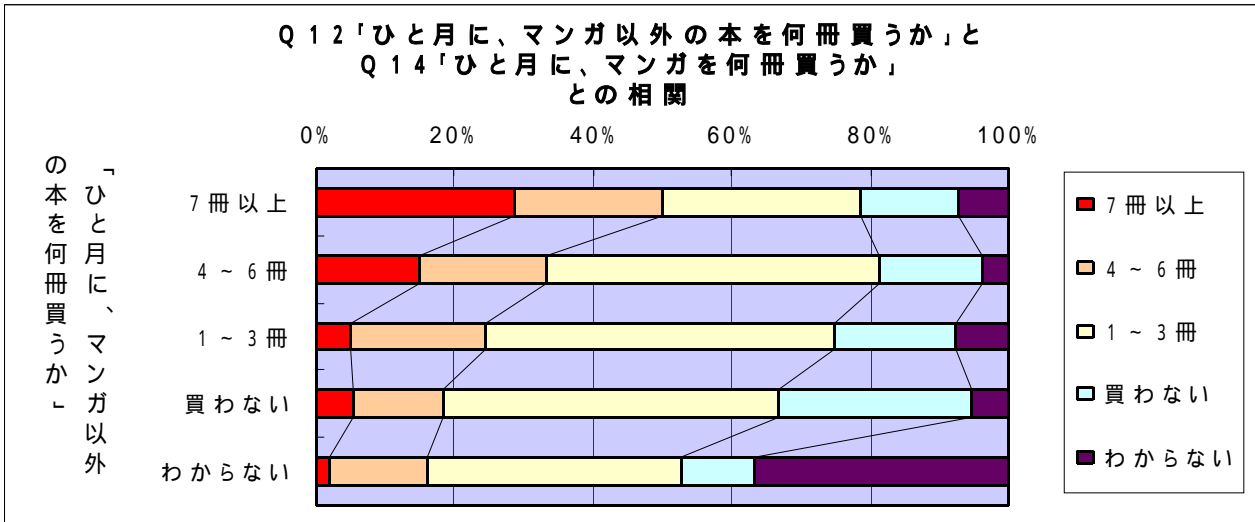
【Q 5 ⇨ Q18】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供（朝食を食べて学校に行く子供）は、肯定的な回答の子供より、家族そろって朝食を食べる回数が「7回（毎日）」「4～6回」と比較的多い選択肢を回答する割合が高い。

【Q18 ⇨ Q 5】「家族そろって朝食を食べるのは、週に何回くらいか」という設問に対して、「1～3回」「全くない」と回答した子供は、「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、「7回（毎日）」「4～6回」に対する回答の割合と大きな差は少なく、「家族そろって朝食を食べること」にかかわらず、ほとんどの子供は朝食を食べて学校に行っている。

「朝食を食べて学校に行く」傾向の子供は、「家族そろって朝食を食べる」回数も比較的多い。

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を買いますか？

Q14 ひと月に、何冊くらいマンガ本を買いますか？



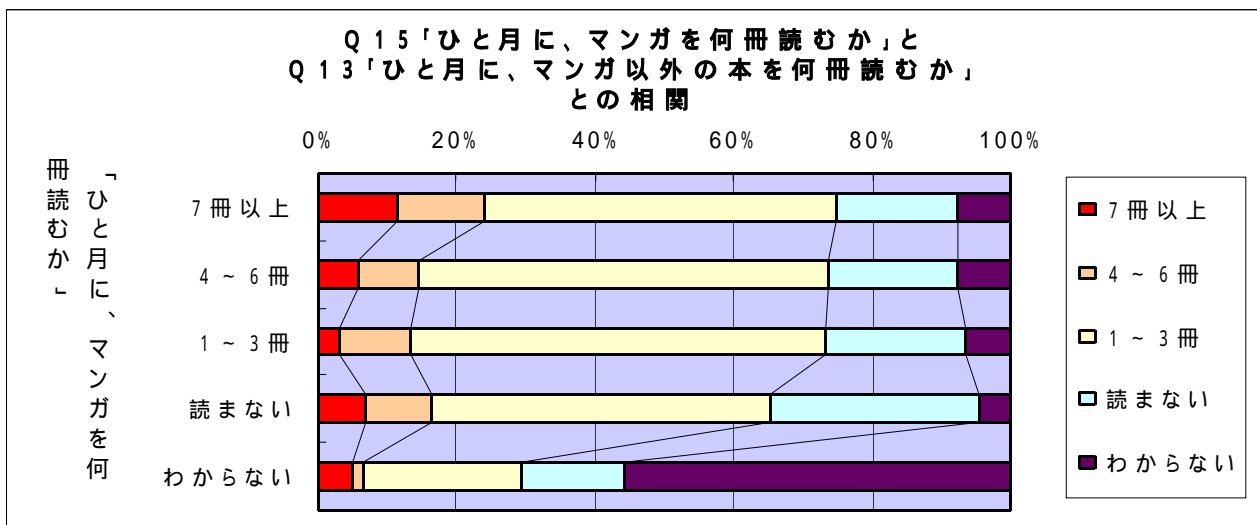
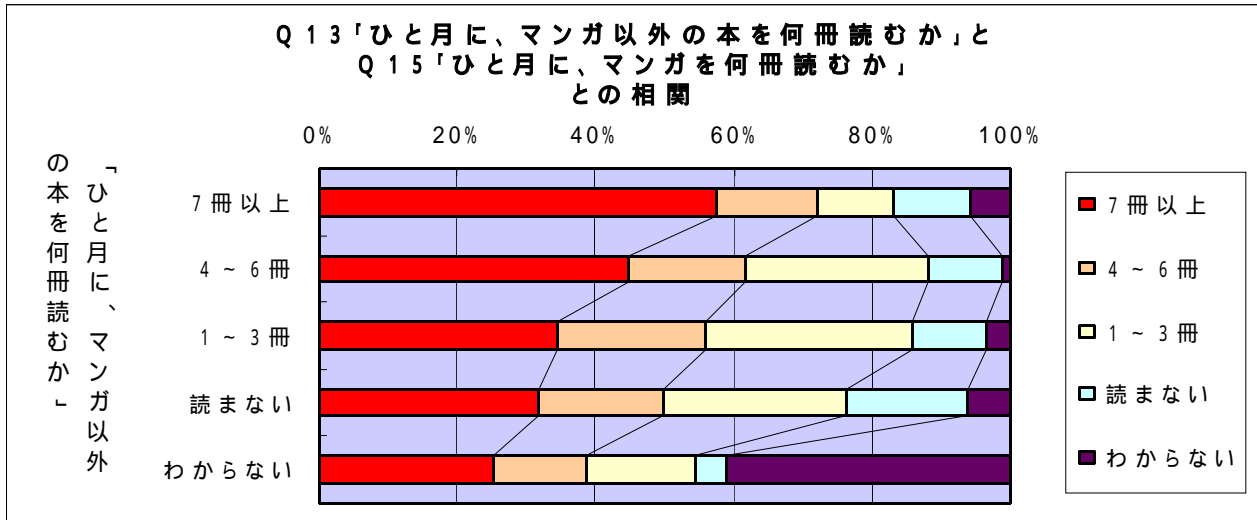
【Q12 ⇨ Q14】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」という設問に対して、「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「買わない」という回答の子供より、マンガを買う割合が高い。「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」にかかわらず、マンガを買う子供の割合は6割以上と比較的高い。

【Q14 ⇨ Q12】「ひと月に、マンガを何冊買うか」という設問に対して、「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「買わない」という回答の子供より、マンガ以外の本を買う割合が高い。

「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」にかかわらず、子供はマンガを買う傾向がおおむねみられる。また、多くの「マンガを買う」傾向にある子供は、マンガ以外の本も買う傾向がみられる。

Q13 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？

Q15 ひと月に、何冊くらいマンガ本を読みますか？



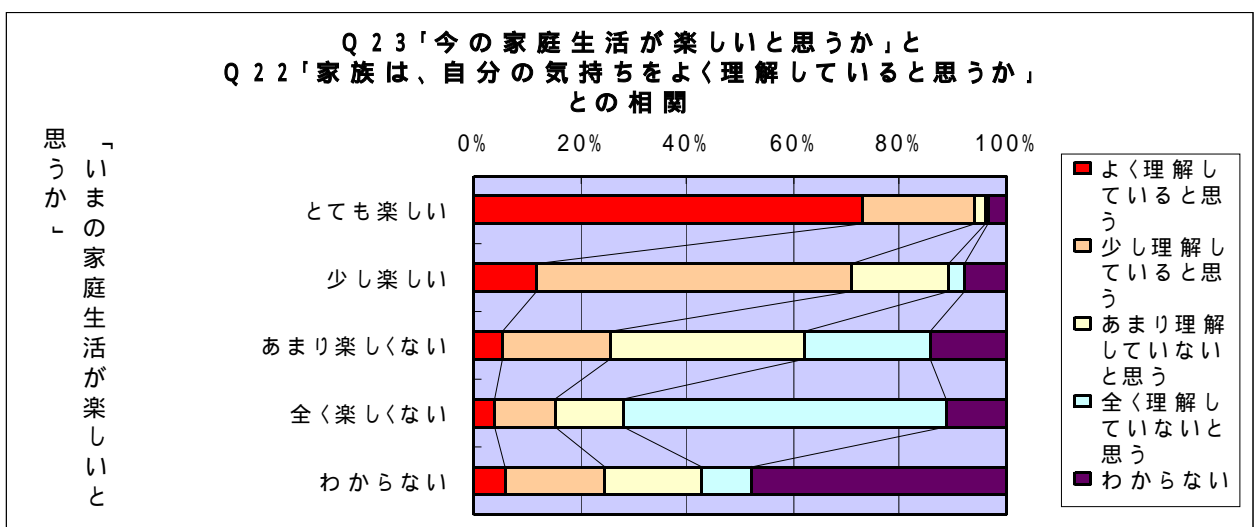
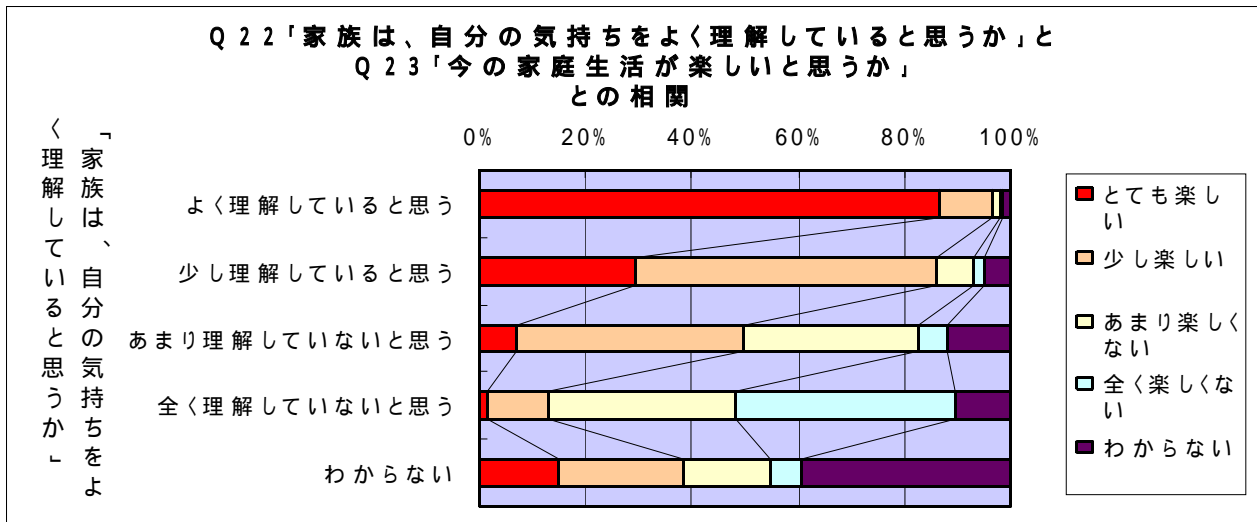
【Q13⇒Q15】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」という設問において、マンガ以外の本を「7冊以上」読む子供は、マンガを「7冊以上」「4～6冊」読んでいる割合も多く、マンガ以外の本を読む冊数が減ると、その割合も減ってくる。マンガ以外の本を読む冊数にかかわらず、マンガを読んでいる子供の割合はおよそ8割を超えている。

【Q15⇒Q13】「ひと月に、マンガを何冊読むか」という設問において、冊数にかかわらず、マンガ以外の本を読んでいる子供の割合は7割程度みられ、4冊以上読んでいる子供の割合は、1～2割程度である。

マンガ以外の本を多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多くを読む傾向がみられるが、それとともに、「マンガ以外の本を何冊読むか」にかかわらず、子供はマンガを読む傾向がみられる。また、マンガを多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多く読む傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？



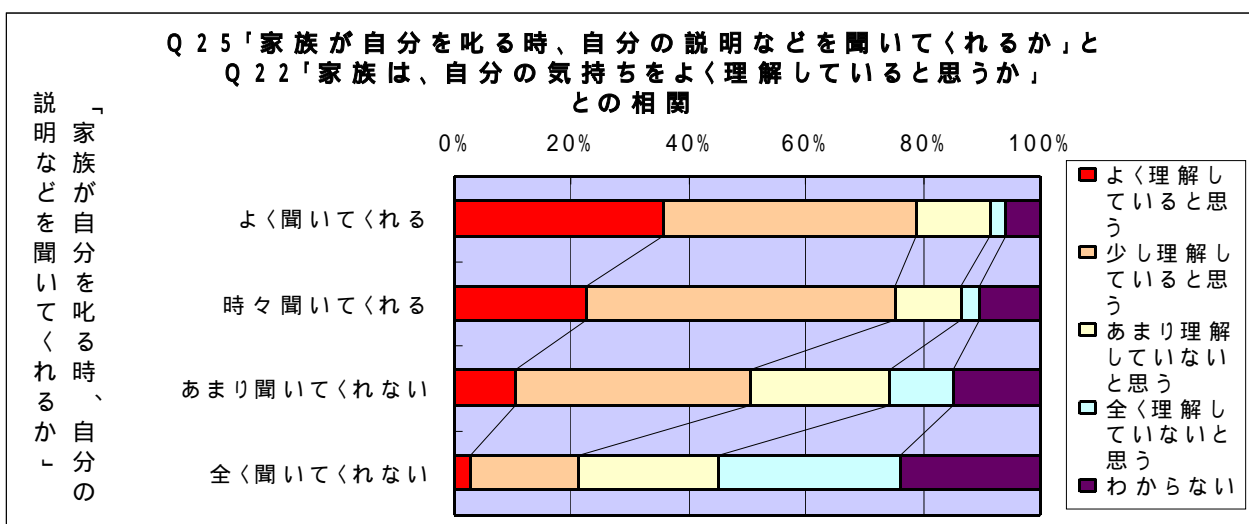
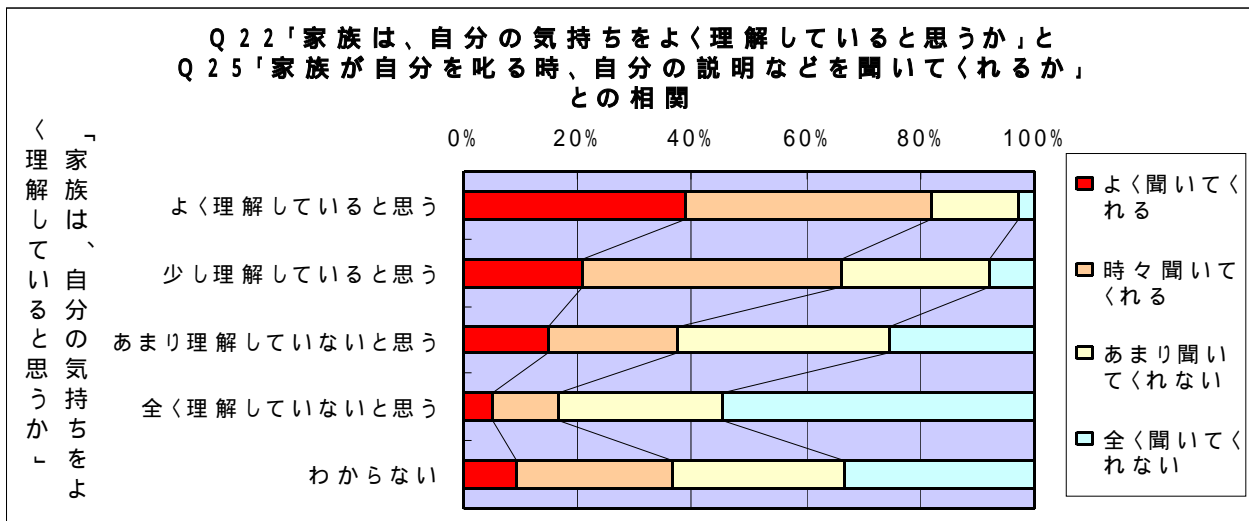
【Q22 ⇨ Q23】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q23 ⇨ Q22】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「家族は自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられ、また、「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q25 あなたの家族があなたを叱る時あなたの説明や理由を聞いてくれますか？



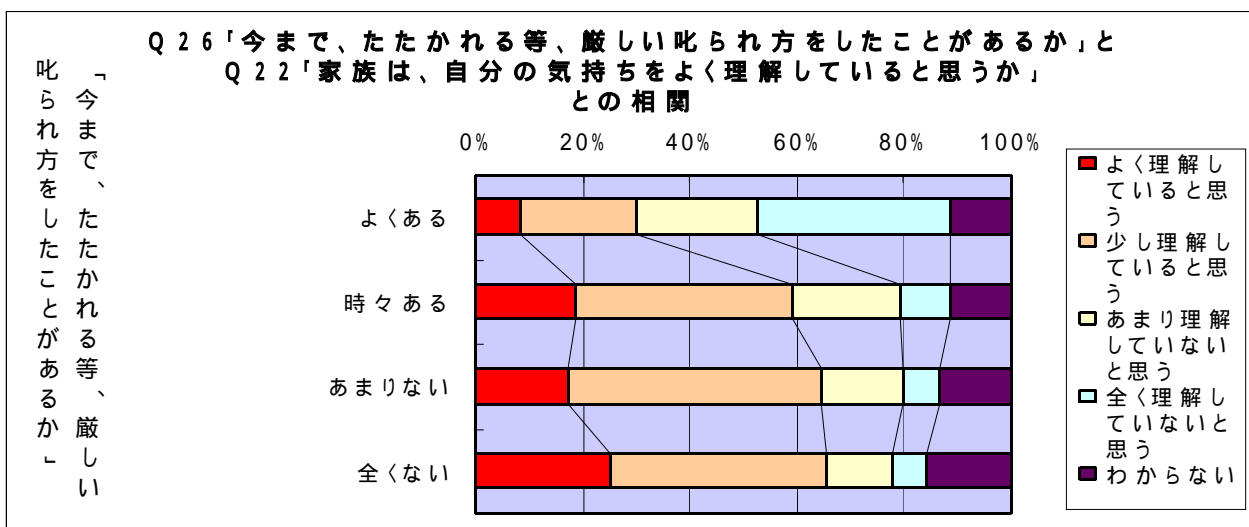
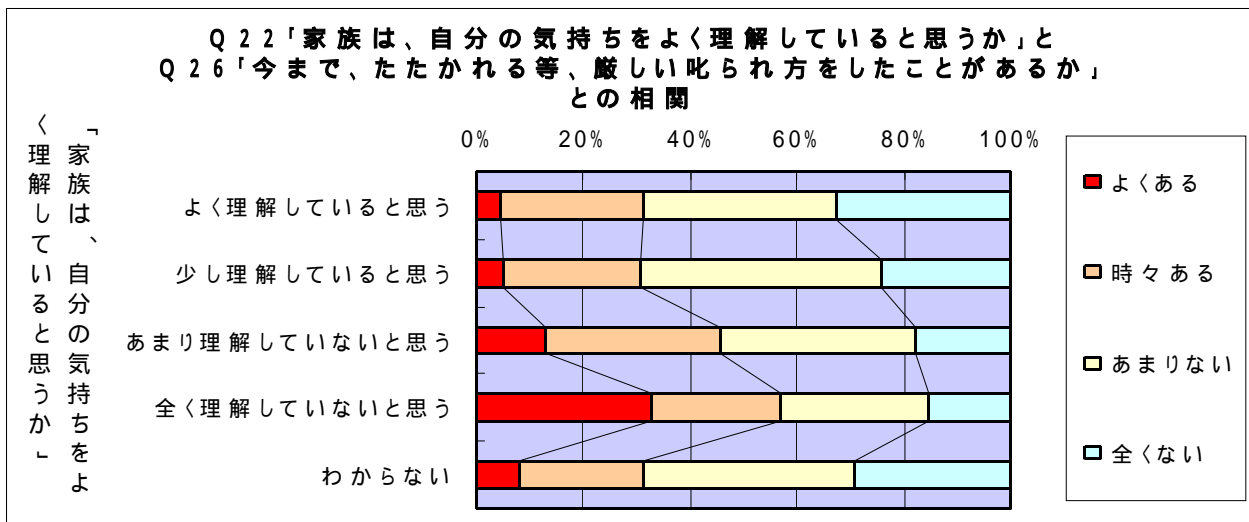
【Q22 ⇨ Q25】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「自分の説明などをよく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q25 ⇨ Q22】「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれるか」という設問に対して、「よく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は、自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている傾向がみられ、また、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q26 あなたは、今までに、家で^{きび}しいかられ方（例えば、たたかれたり、外に出されたりするなど）をしたことがありますか？



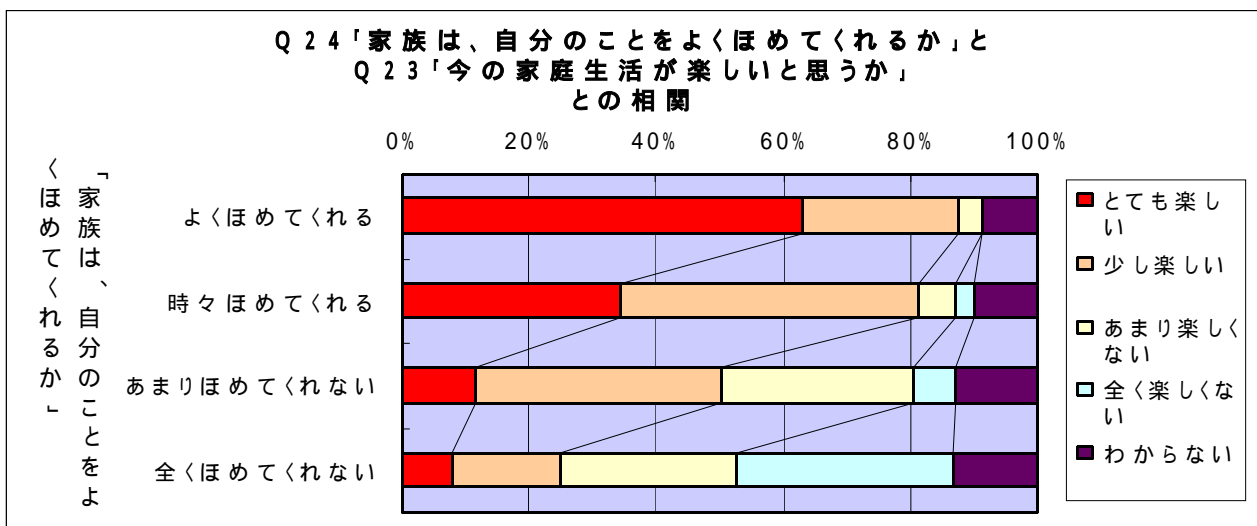
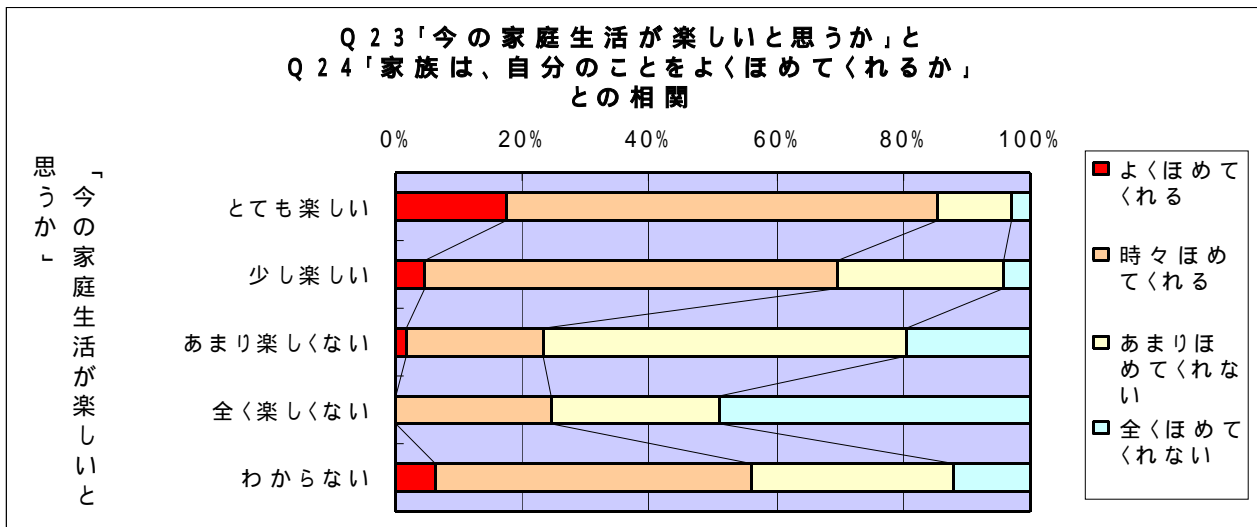
【Q22 ⇨ Q26】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「あまり理解していないと思う」「全く理解していないと思う」という否定的な回答をした子供は、肯定的な回答の子供より、「たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q26 ⇨ Q22】「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供は、「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがあまりない・全くない」という子供が多く、また、そのような子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？

Q24 あなたの家族は、あなたのことをよくほめてくれますか？



【Q23 ⇨ Q24】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は自分のことをよくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

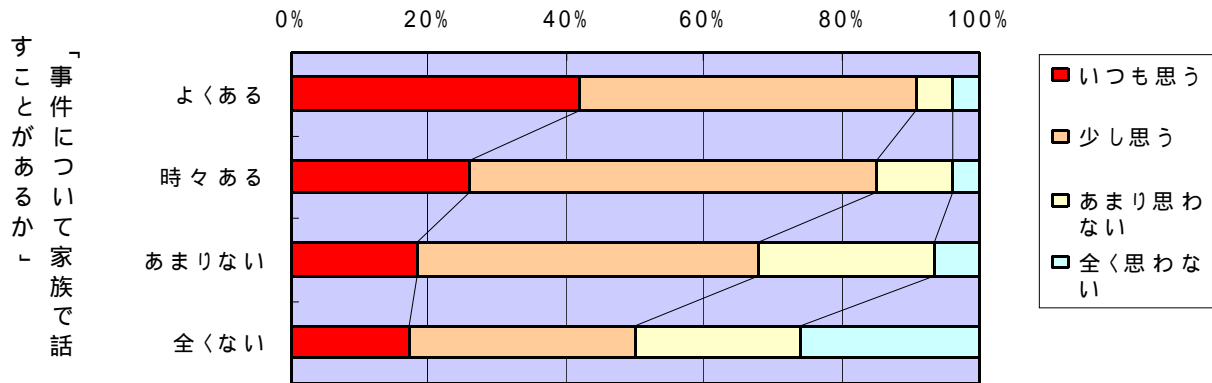
【Q24 ⇨ Q23】「家族は、自分のことをほめてくれるか」という設問に対して、「よくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。

「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答する傾向がみられ、また、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答している子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられる。

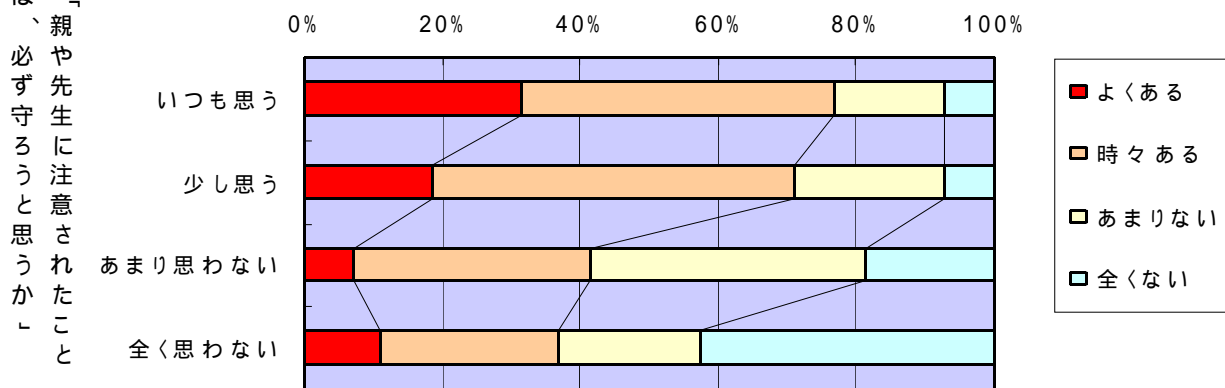
Q29 子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがありますか？

Q30 あなたは、事件や事故の被害を受けないようにするために、先生や家族に注意されたことは、必ず守ろうと思いますか？

Q29「事件等について家族で話すことがあるか」と
Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」
との相関



Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」と
Q29「事件等について家族で話すことがあるか」
との相関



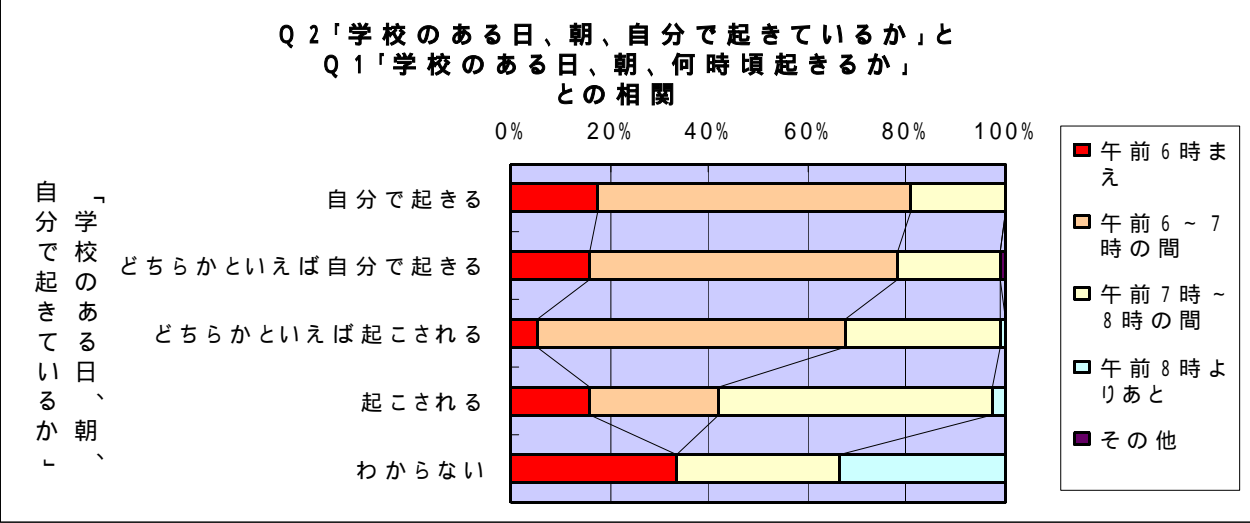
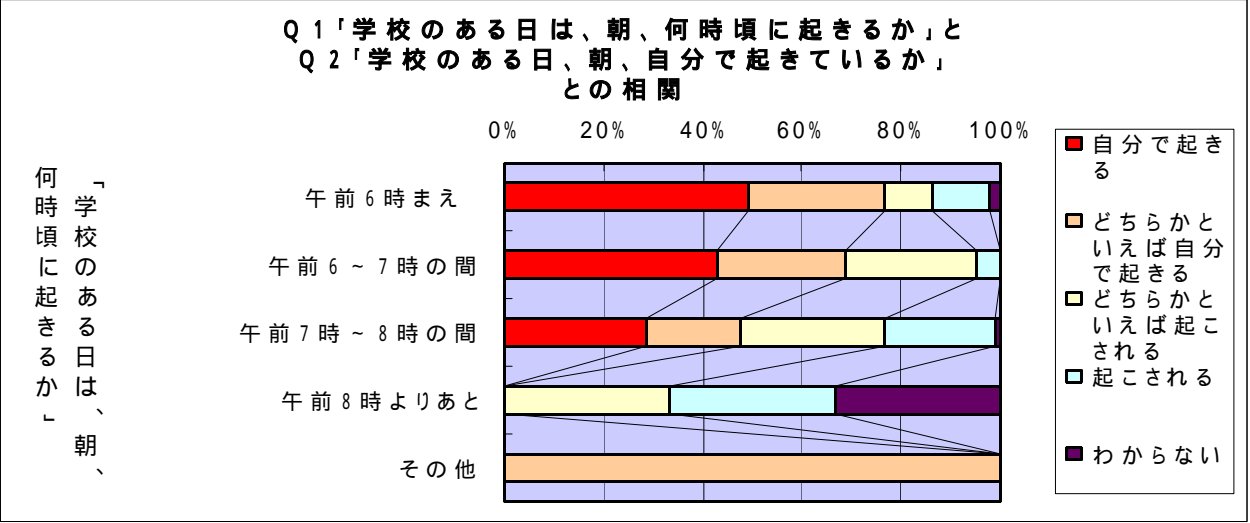
【Q29 ⇨ Q30】「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」といつも思っている」「少し思っている」という回答の割合が高い。

【Q30 ⇨ Q29】「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」という設問に対して、「いつも思っている」「少し思っている」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがよくある」「時々ある」という回答の割合が高い。

「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすること」がある子供は、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思う傾向がみられ、また、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思っている子供は、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をしている」実態がうかがえる。

Q 1 学校のある日は、朝、だいたい何時ころに起きますか？

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？



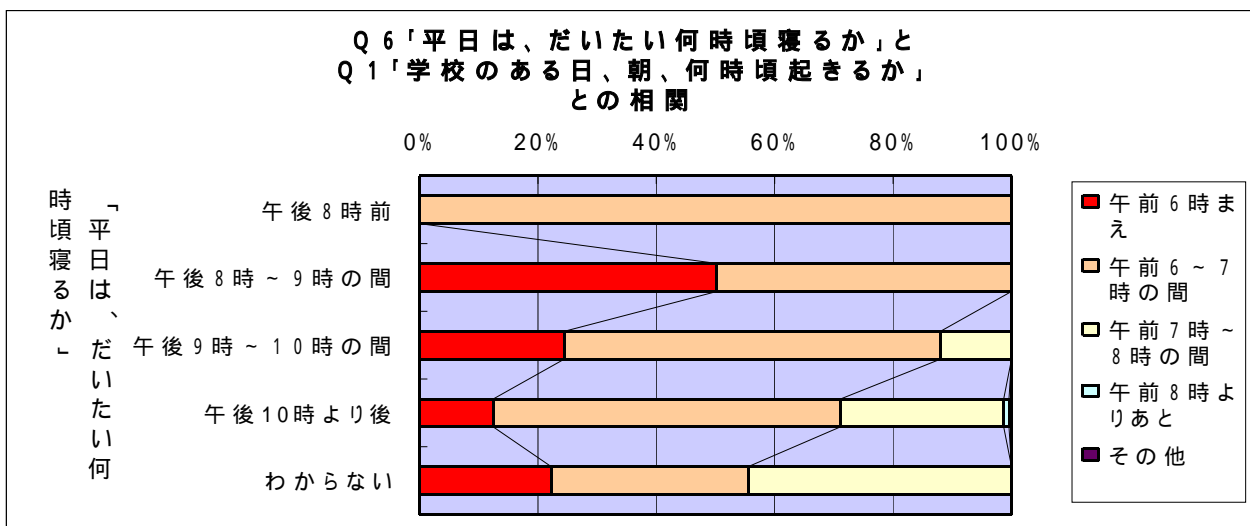
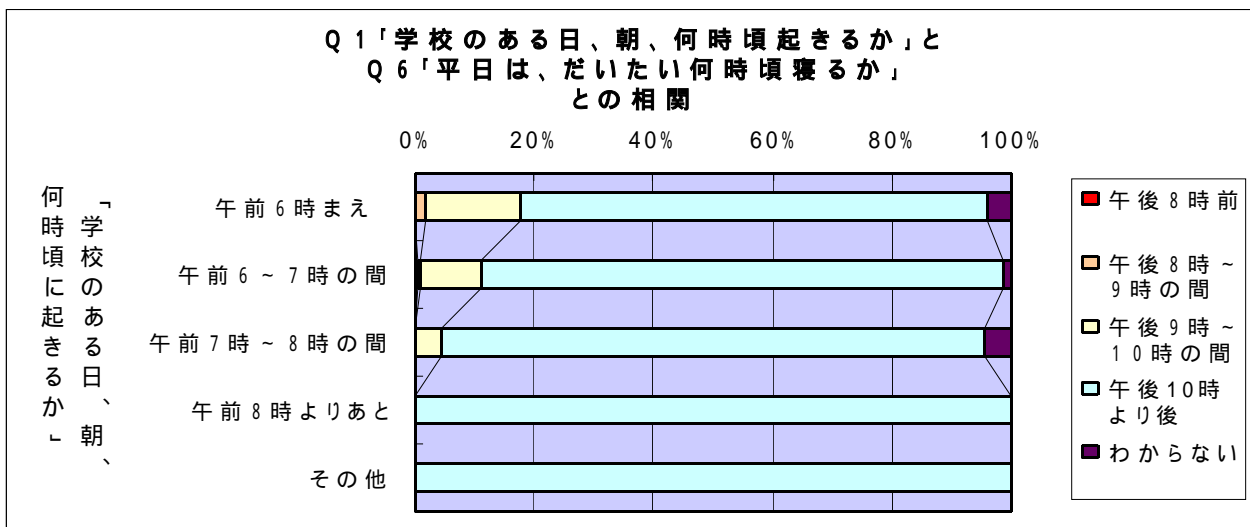
【Q 1 ⇨ Q 2】「学校のある日、朝、何時頃に起きるか」という設問に対して、「午前6時前」に起きると回答した子供の8割以上が「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という回答をしているが、「午前6時～7時の間」となると約7割と減少する。起床時間が遅くなると、自分で起きる子供の割合が減少してくる。

【Q 2 ⇨ Q 1】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問について、「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」と肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「午前6時前」「午前6時～7時の間」に起きる割合が高い。

「午前6時前」など、より早い時間に起きる子供は、自分で起きる傾向がみられ、また、自分で起きる傾向の子供は、「午前6時前」など、より早い時間に起きる傾向がみられる。

Q1 学校のある日は、朝、だいたい何時ごろに起きますか？

Q6 平日は、夜、だいたい何時ごろに寝ますか？



【Q1 ⇨ Q6】「午前6時前」に起きる子供で、午後10時までに寝ている割合は2割弱であり、起きる時間にかかわらず、ほとんどの子供が「午後10時より後」に寝ている。

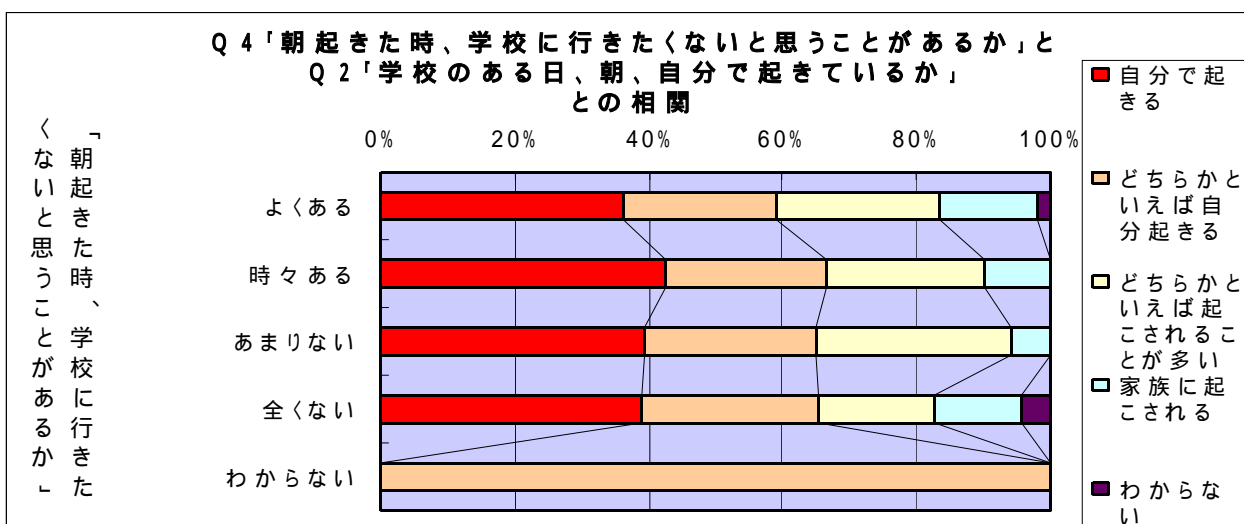
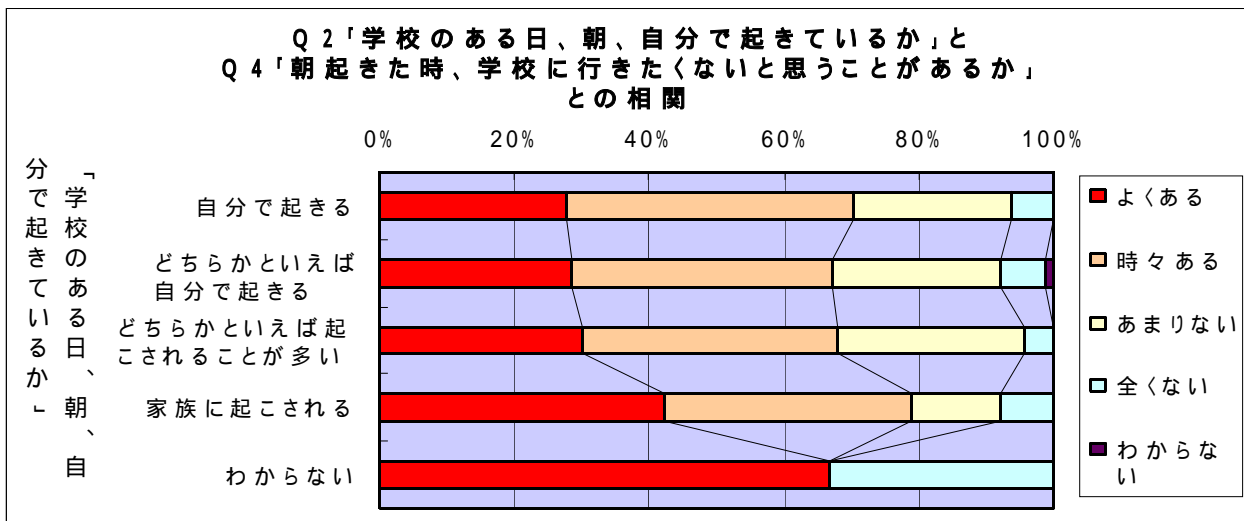
【Q6 ⇨ Q1】「午後8時前」「午後8時～9時の間」に寝る子供において、午前7時までに起きる割合が高く、寝る時間が遅くなるほど、その割合が減少する傾向にある。

「午後8時～9時の間」に寝る子供の半数は、「午前6時前」に起きるが、寝る時間が遅くなるほど、その割合が減少する傾向にある。

起きる時間にかかわらず、ほとんどの子供が「午後10時より後」に寝る傾向がみられる。また、遅い時間に寝る子供は、朝も遅く起きる傾向がみられる。

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



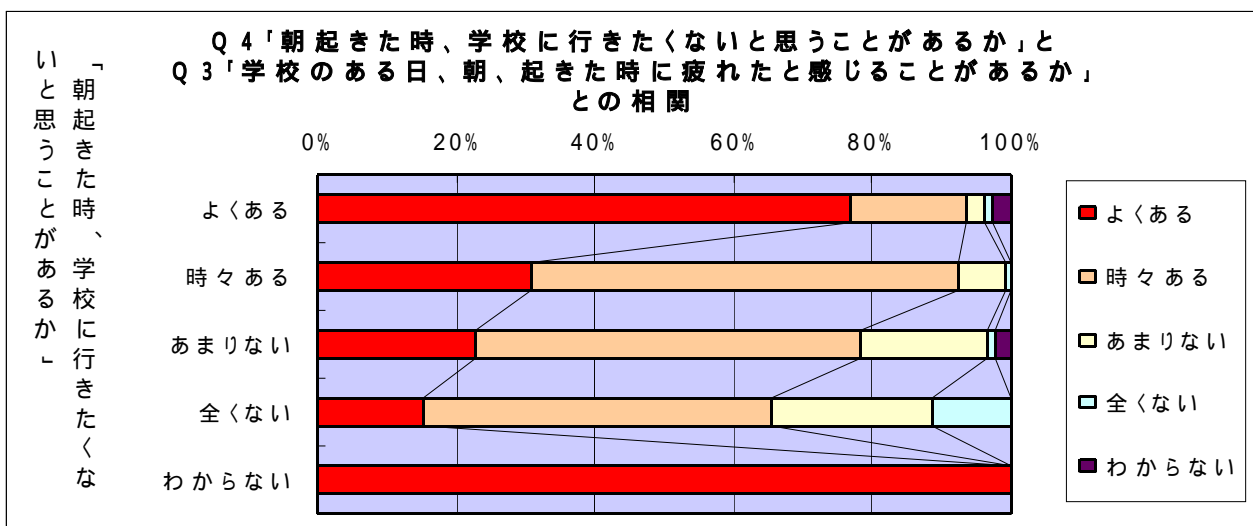
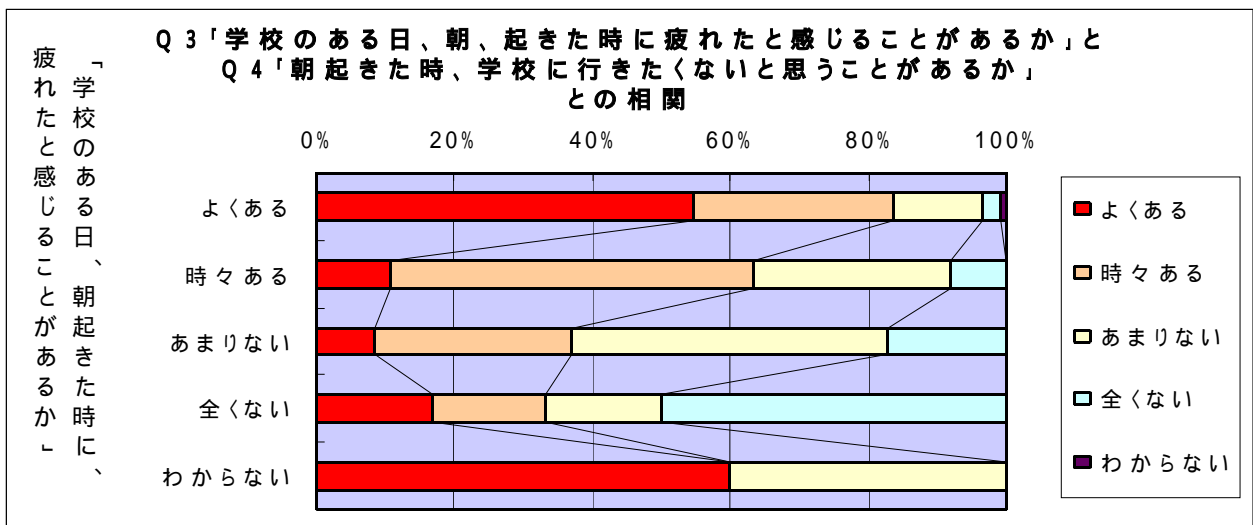
【Q 2 ⇨ Q 4】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問において、選択肢にかかわらず、「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が7～8割程度みられ、特に「家族に起こされる」子供における割合が高い。

【Q 4 ⇨ Q 2】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、選択肢にかかわらず、「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という肯定的な回答の割合が6～7割程度みられる。

「朝、自分で起きるか」にかかわらず、「朝、学校に行きたくないと思う」傾向がみられ、また、「朝、学校に行きたくないと思うか」にかかわらず、「自分で起きたり、家族に起こされたりしている」傾向がみられる。

Q3 学校のある日、朝起きた時に疲れていると感じることがありますか？

Q4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



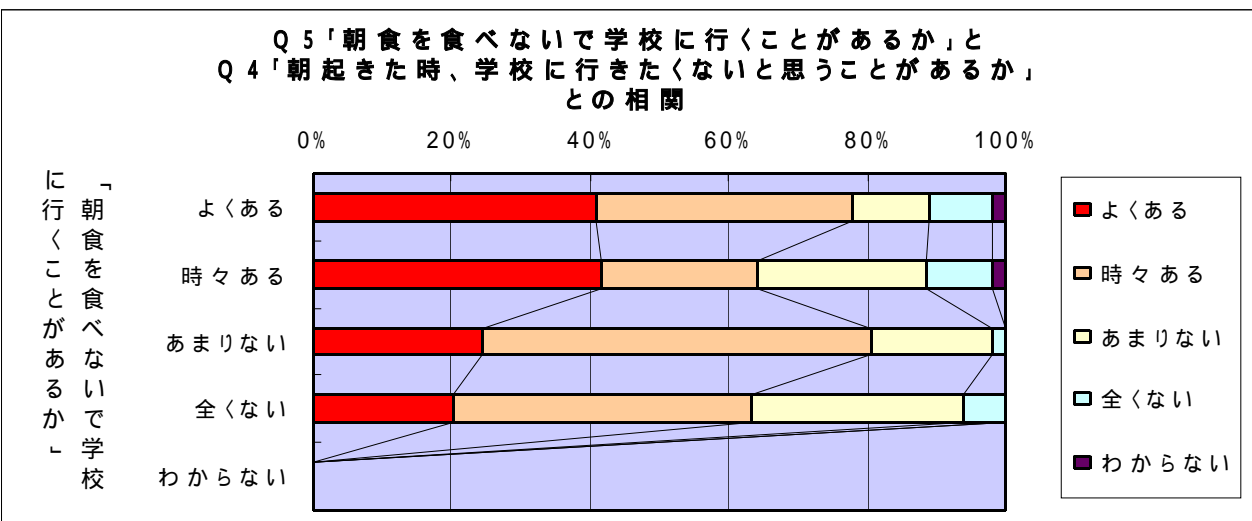
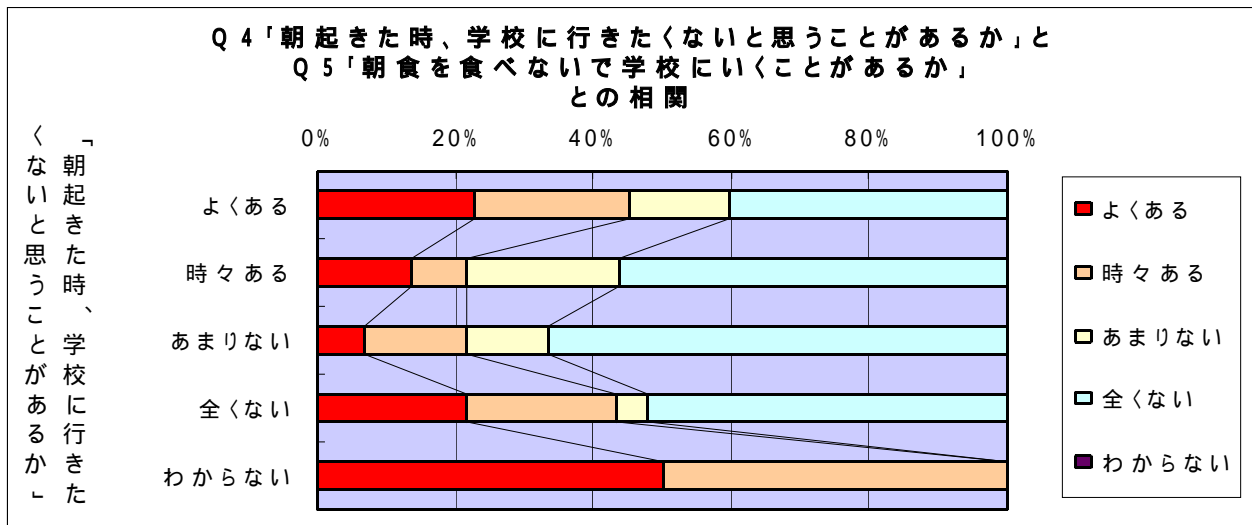
【Q3 ⇨ Q4】「朝、起きたとき疲れたと感じることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。特に、「疲れたと思うことがよくある」と回答した子供における「いきたくないと思うことがよくある」割合が高い。

【Q4 ⇨ Q3】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、起きたとき疲れたと感じることがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。特に、「いきたくないと思うことがよくある」と回答した子供における「疲れたと思うことがよくある」割合が高い。

「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」子供は、「朝、学校に行きたくないと思うことがある」という傾向がみられ、また「朝、学校に行きたくないと思うことがある」子供は、「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」という傾向がみられる。

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？



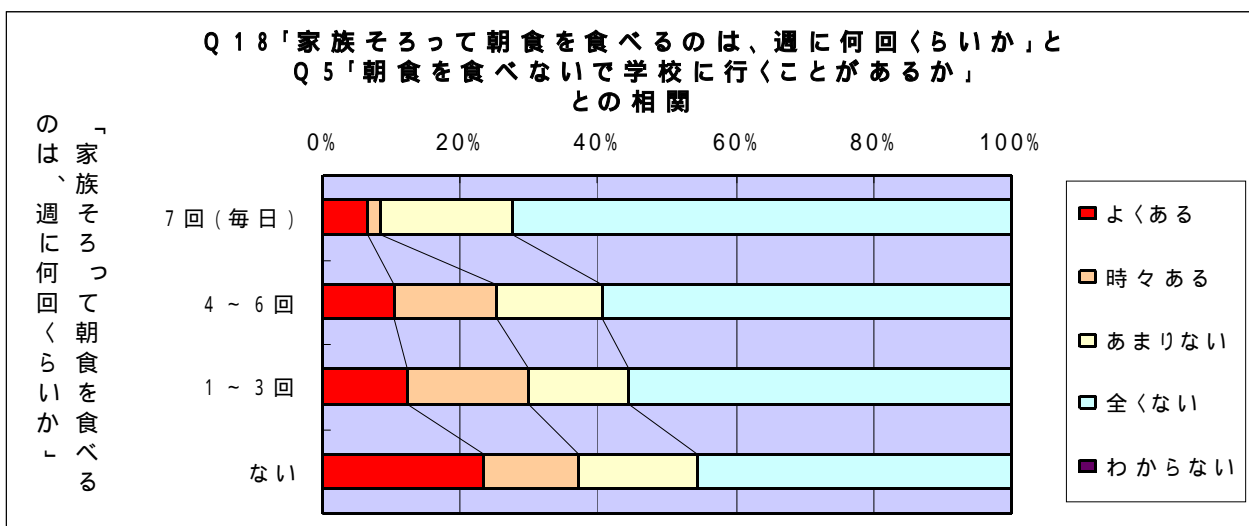
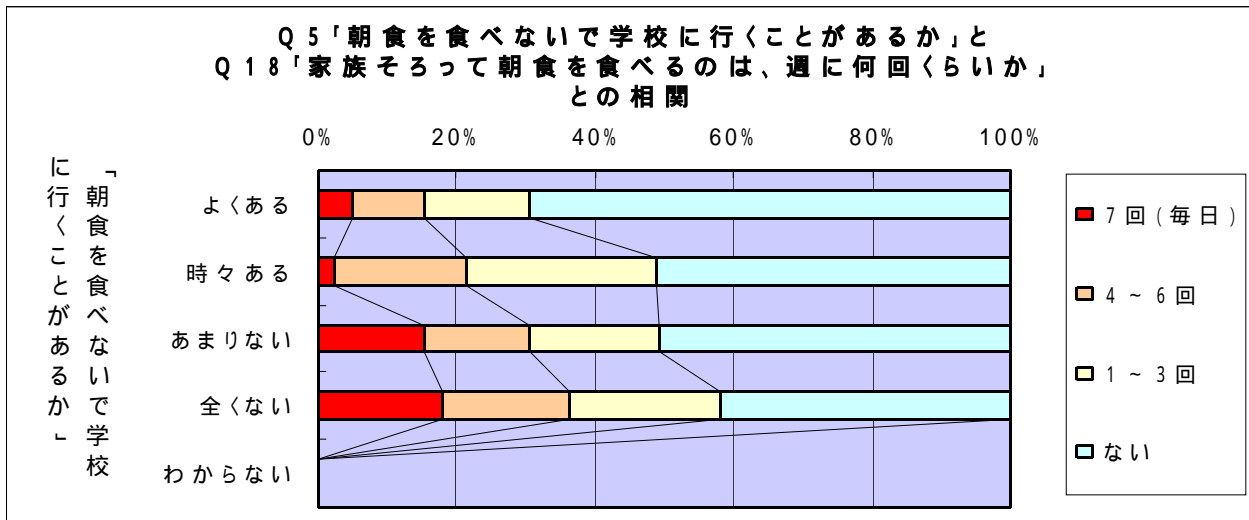
【Q 4 ⇨ Q 5】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。ただ、朝、学校に行きたくないと思うことが全くない」子供における「朝、学校に行きたくないと思う」割合は比較的高い。半数程度の子供は、朝食を食べて学校に行っている。

【Q 5 ⇨ Q 4】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「よくある」「あまりない」という回答をした子供は、「朝起きたとき、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答が8割程度みられるが、「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」にかかわらず、大きな差はみられない。

「朝、学校に行きたくないと思う」子供たちは、朝食を食べないで学校に行く傾向が若干みられるが、子供たちはおおむね朝食を食べて学校に行っている。また、「朝食を食べるか」どうかにかかわらず、「朝、学校に行きたくないと思うこと」があるという傾向がみられる。

Q 5 朝食を食べないで学校に行くことがありますか？

Q18 あなたの家では、家族みんながそろって朝食を食べるのは、週に何回くらいありますか？



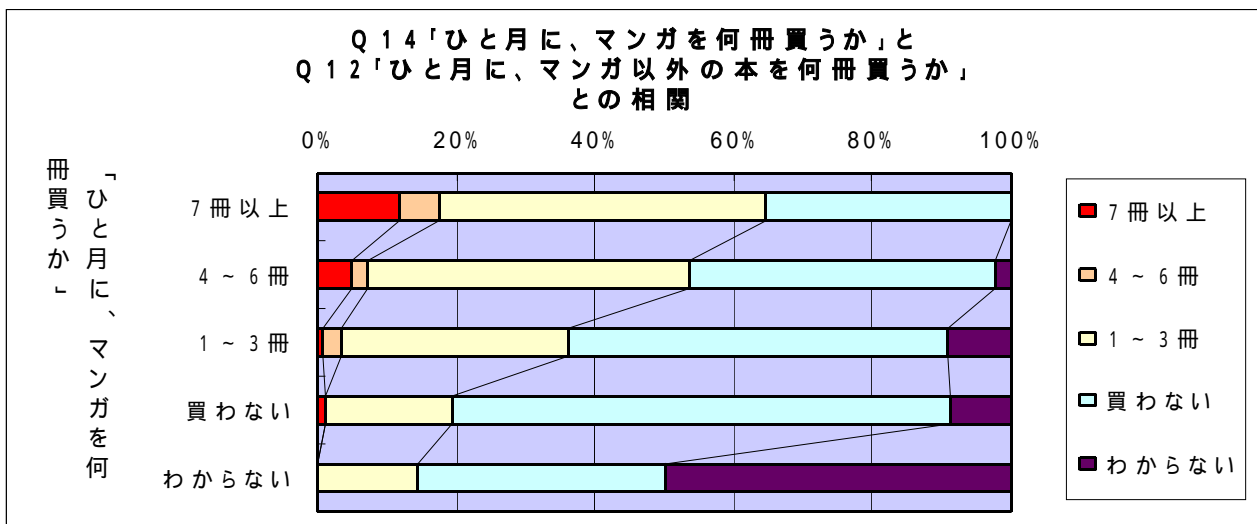
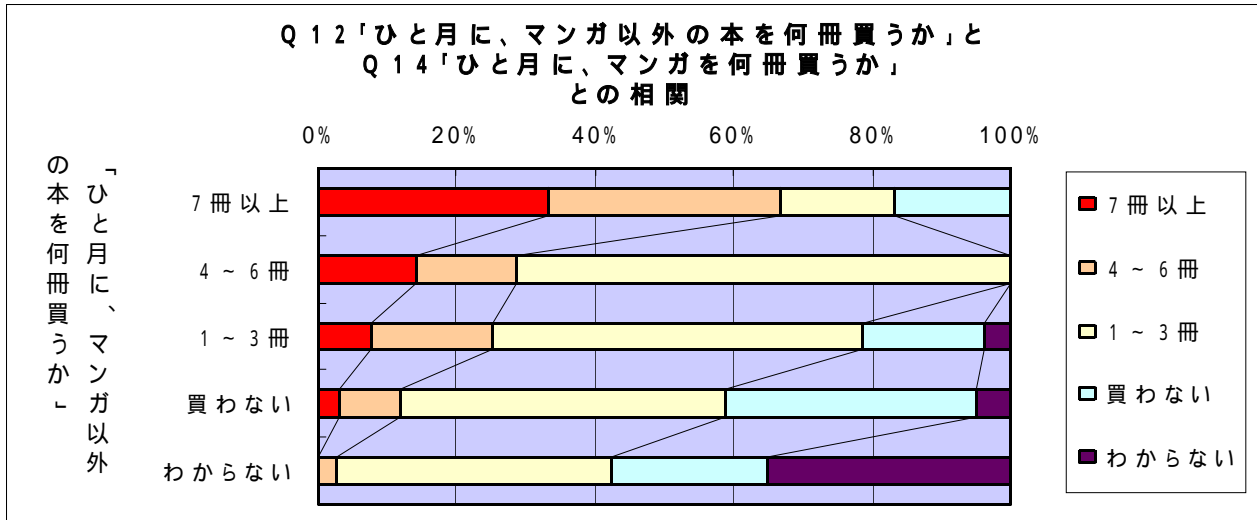
【Q 5 ⇨ Q18】「朝食を食べないで学校に行くことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供（朝食を食べて学校に行く子供）は、肯定的な回答の子供より、家族そろって朝食を食べる回数が「7回（毎日）」「4～6回」と比較的多い選択肢を回答する割合が高いが、「朝食を食べないで学校に行くこと」にかかわらず、およそ半数以上が一緒に朝食をとることが全くない。

【Q18 ⇨ Q 5】「家族そろって朝食を食べるのは、週に何回くらいか」という設問に対して、「1～3回」「全くない」と回答した子供は、「朝食を食べないで学校に行くことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高いが、「家族そろって朝食を食べること」にかかわらず、半数以上の子供は朝食を食べて学校に行っている。

「朝食を食べて学校に行く」傾向の子供は、「家族そろって朝食を食べる」回数も比較的多く、また、「家族そろって朝食を食べる」傾向の子供は、「朝食を食べて学校に行く」傾向がみられるが、半数以上の子供は、朝食を食べて学校に行っている。

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を買いますか？

Q14 ひと月に、何冊くらいマンガ本を買いますか？



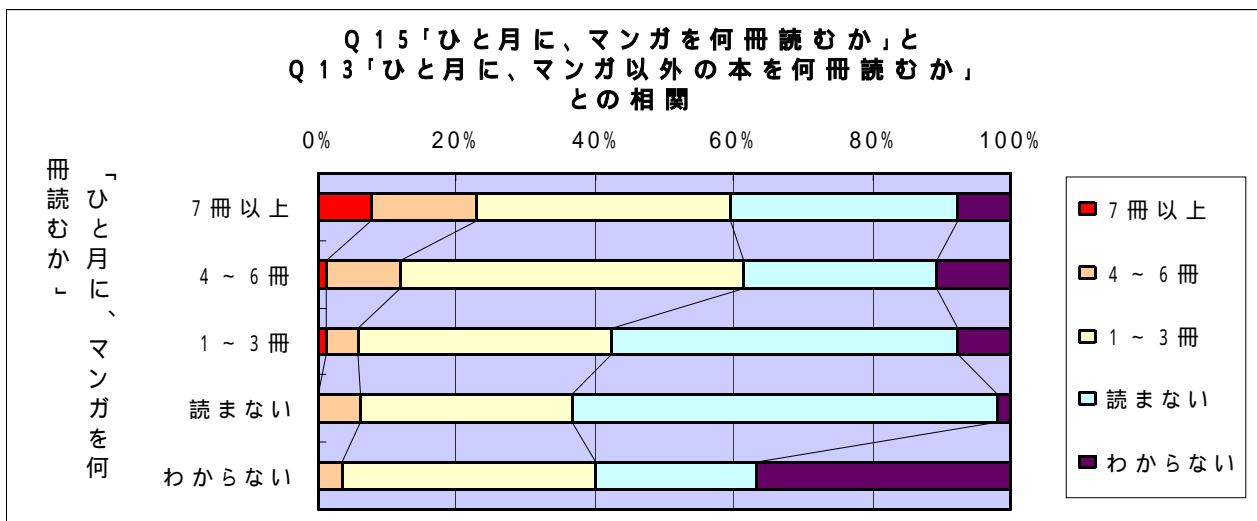
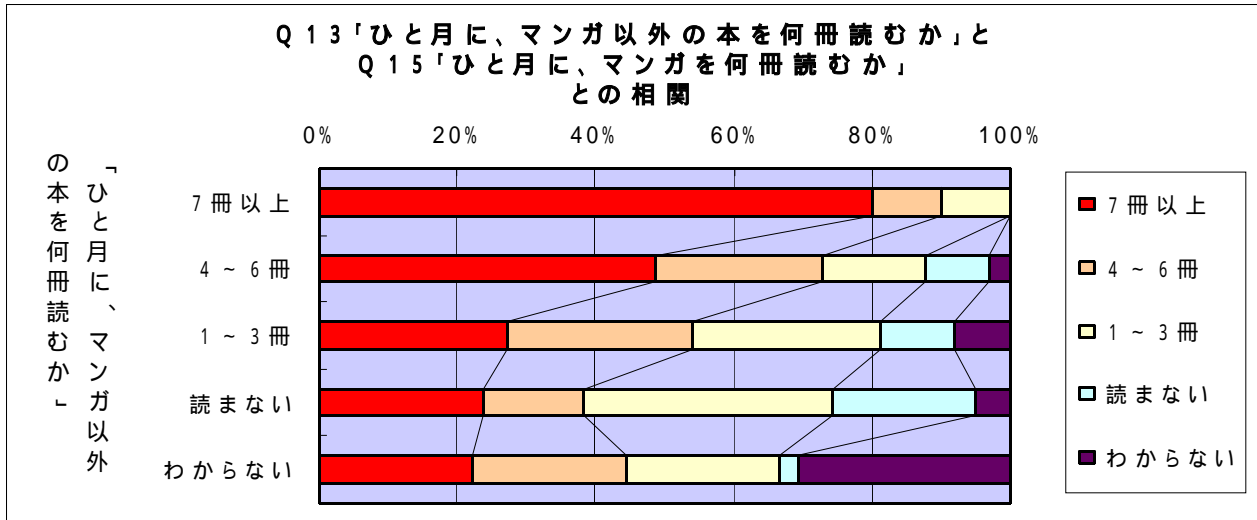
【Q12 ⇨ Q14】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊買うか」という設問に対して、「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「買わない」という回答の子供より、マンガを買う割合が高い。特に、ひと月に「4～6冊」マンガ以外の本を何冊買う子供におけるマンガを買う割合が高い。

【Q14 ⇨ Q12】「ひと月に、マンガを何冊買うか」という設問に対して、「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「買わない」という回答の子供より、マンガ以外の本を買う割合が高い。

ひと月に、マンガ以外の本を多く買う子供は、マンガも比較的多く買う傾向がみられ、また、マンガを多く買う傾向にある子供は、マンガ以外の本も比較的多く買う傾向がみられる。

Q13 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？

Q15 ひと月に、何冊くらいマンガ本を読みますか？



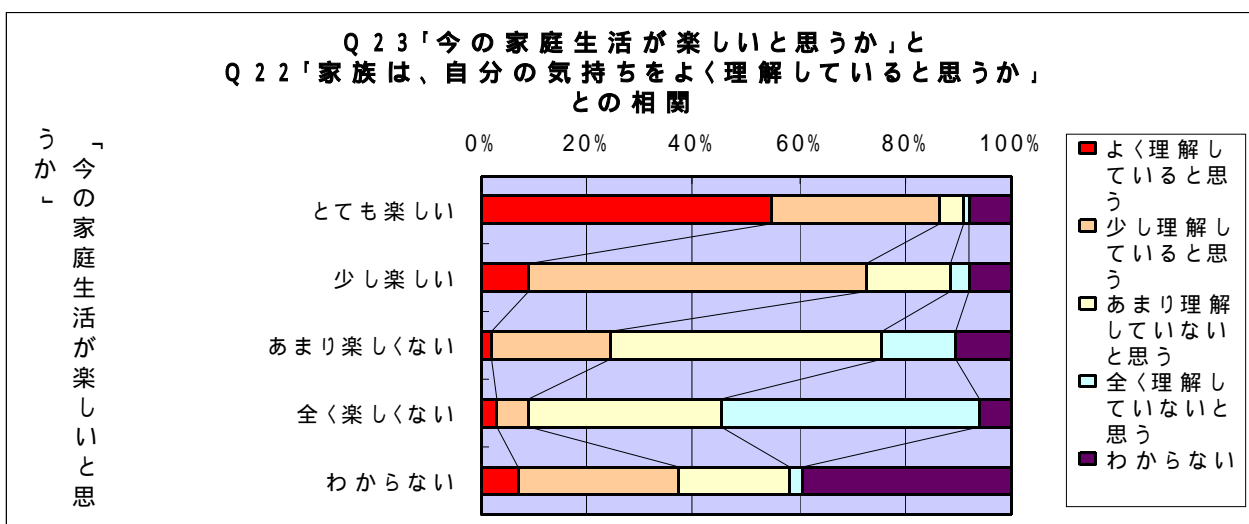
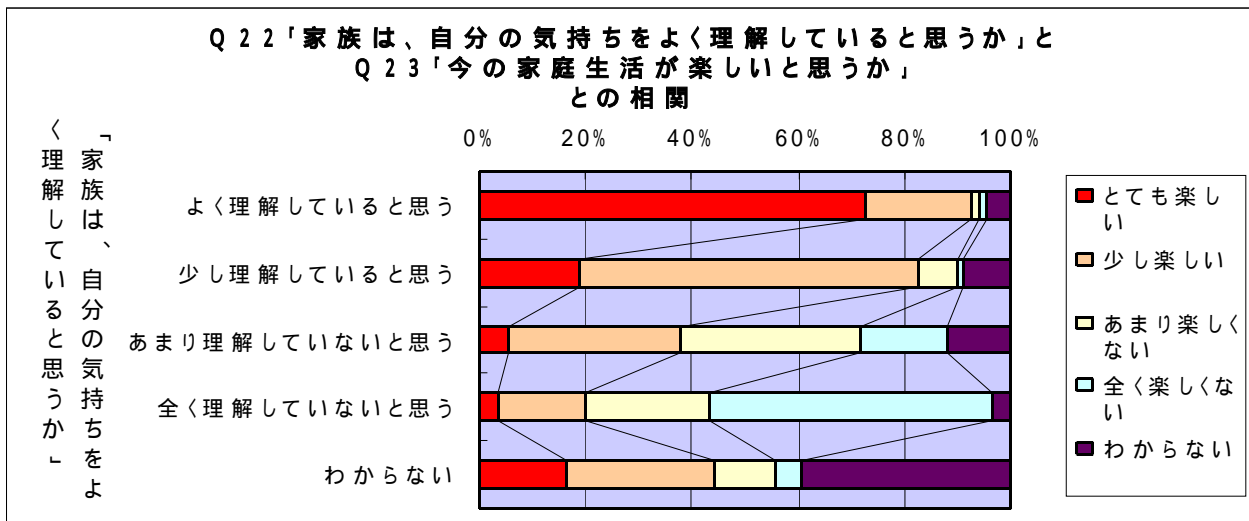
【Q13⇒Q15】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」という設問において、マンガ以外の本を「7冊以上」読む子供は、マンガを「7冊以上」「4～6冊」読んでいる割合も多く、マンガ以外の本を読む冊数が減ると、その割合も減ってくる。マンガ以外の本を読む冊数にかかわらず、マンガを読んでいる子供の割合はおよそ7割を超えている。

【Q15⇒Q13】「ひと月に、マンガを何冊読むか」という設問において「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「読まない」という回答の子供より、「マンガ以外の本を読む」割合が高い。

マンガ以外の本を多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多くを読む傾向がみられるが、それとともに、「マンガ以外の本を何冊読むか」にかかわらず、子供はマンガを読む傾向がみられる。また、マンガを多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多く読む傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？



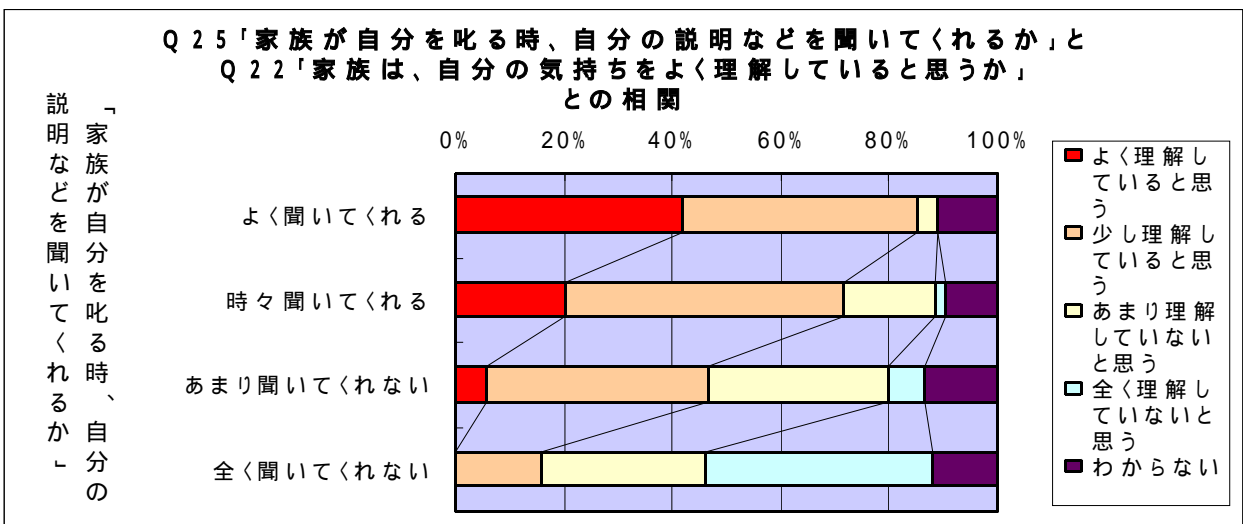
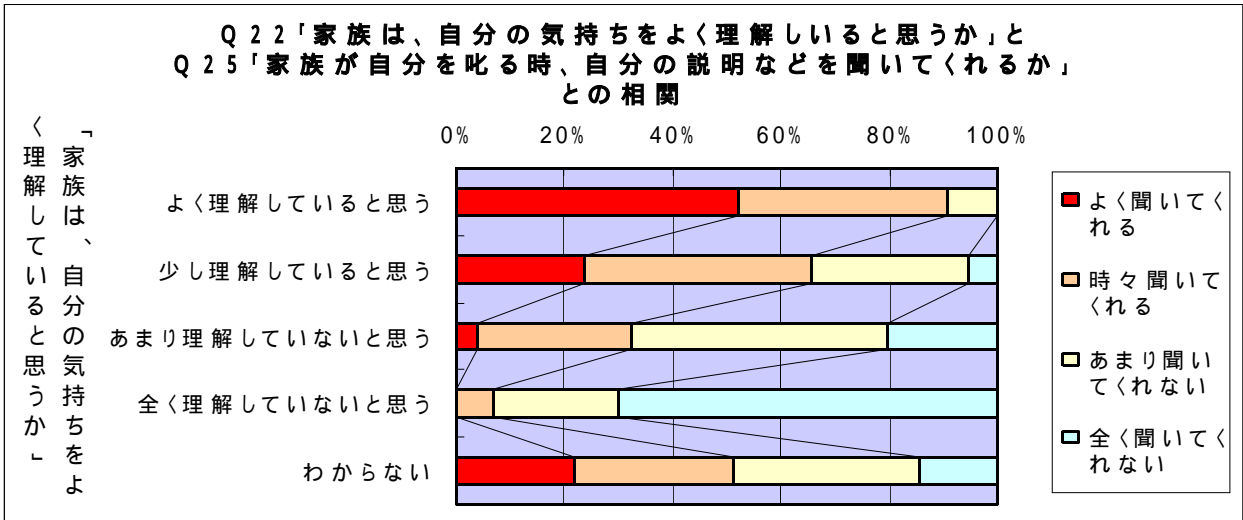
【Q22 ⇨ Q23】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q23 ⇨ Q22】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「家族は自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられ、また、「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q25 あなたの家族があなたを叱る時あなたの説明や理由を聞いてくれますか？



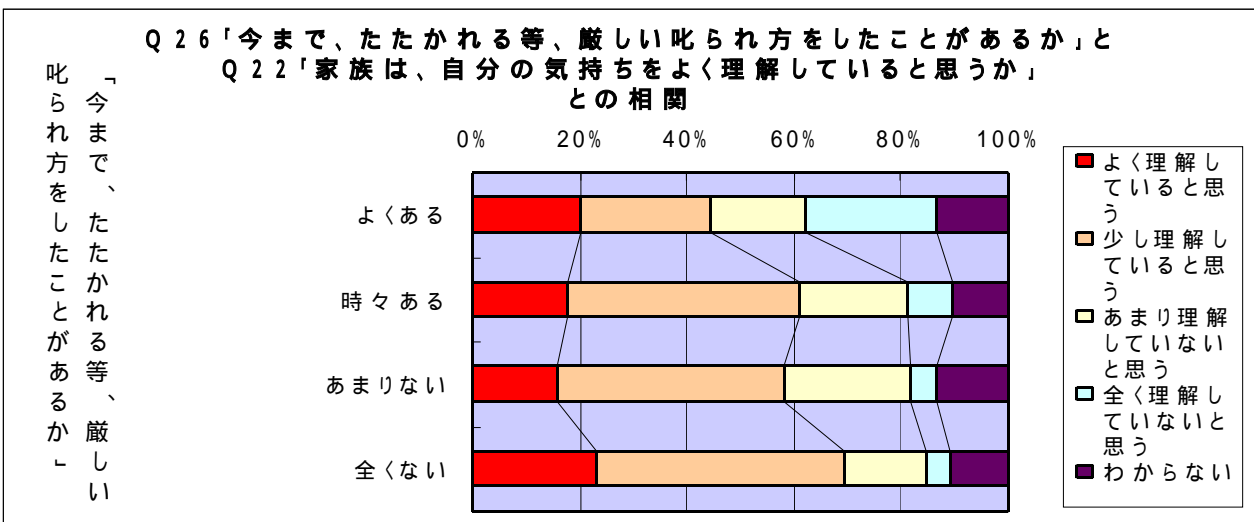
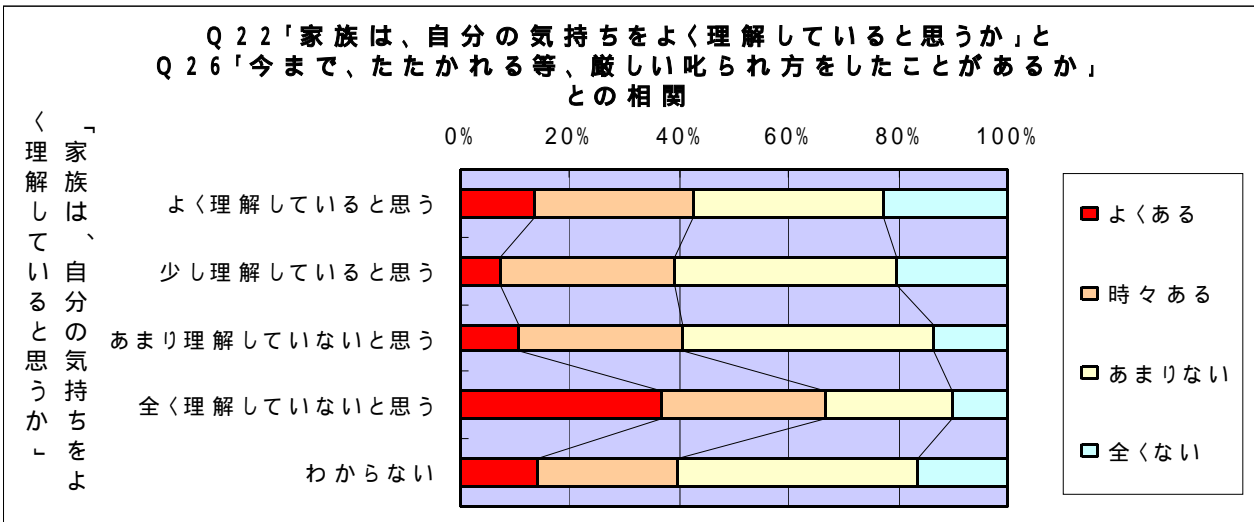
【Q22 ⇨ Q25】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問に対して、「よく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「自分の説明などをよく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q25 ⇨ Q22】「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれるか」という設問に対して、「よく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は、自分の気持ちをよく理解している」「少し理解している」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている子供は、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている傾向がみられ、また、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている傾向がみられる。

Q22 あなたの家族は、あなたの気持ちをよく理解してくれていると思いますか？

Q26 あなたは、今までに、家で^{きび}厳しいかられ方（例えば、たたかれたり、外に出されたりするなど）をしたことがありますか？



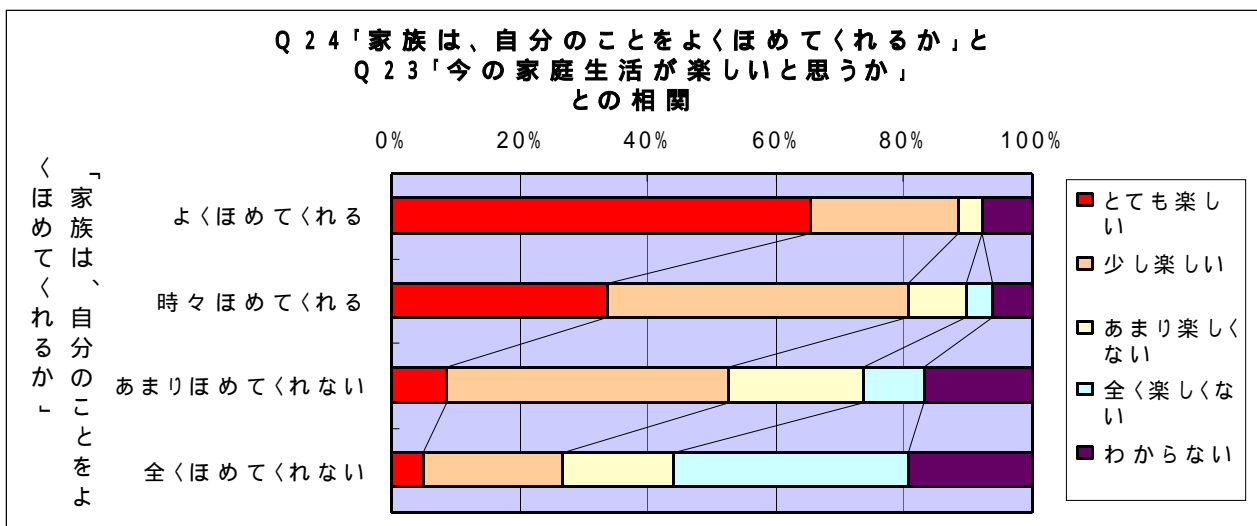
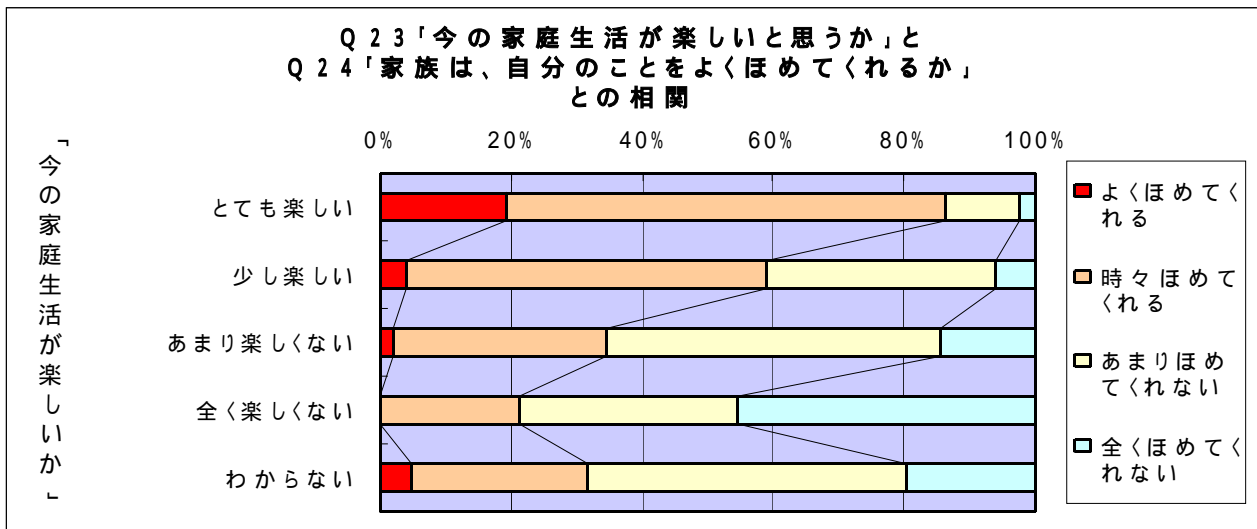
【Q22 ⇨ Q26】「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思うか」という設問において、「全く理解していないと思う」という回答をした子供に対する「たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがよくある」「時々ある」という回答の割合が特に高く、「理解していると思う」等、他の選択肢においても4割程度の肯定的な回答がみられる。

【Q26 ⇨ Q22】「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがあるか」という設問に対して、「あまりない」「全くない」という否定的な回答をした子供は、肯定的な回答の子供より「家族は、自分の気持ちをよく理解していると思う」「少し理解していると思う」という肯定的な回答の割合が比較的高い。

「家族は、自分の気持ちを理解していない」と感じている子供は、「今まで、たたかれる等、厳しい叱られ方をしたことがある・時々ある」という子供が比較的多く、また、そのような子供は、「家族は、自分の気持ちを理解している」と感じている割合が低い傾向がみられる。

Q23 あなたは、今、自分の家庭での生活が楽しいと思いますか？

Q24 あなたの家族は、あなたのことをよくほめてくれますか？



【Q23 ⇨ Q24】「今の家庭生活が楽しいと思うか」という設問に対して、「とても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は自分のことをよくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

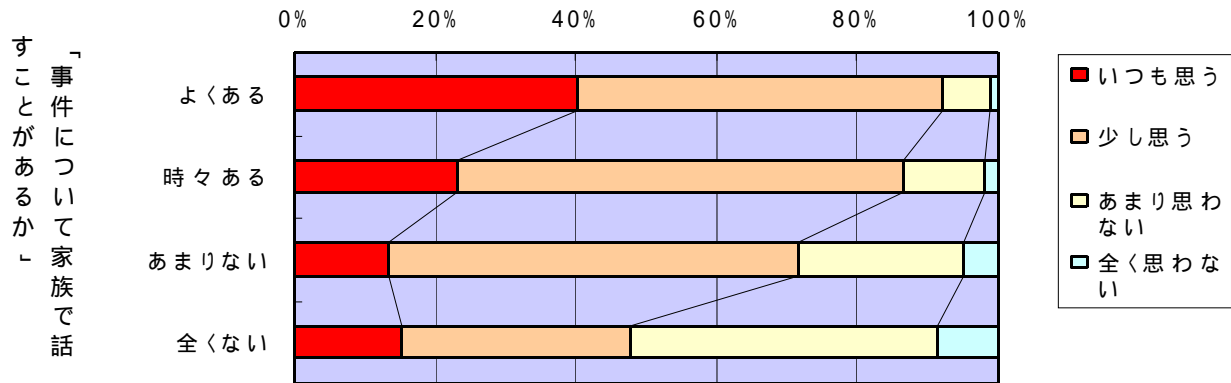
【Q24 ⇨ Q23】「家族は、自分のことをほめてくれるか」という設問に対して、「よくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「今の家庭生活がとても楽しい」「少し楽しい」という肯定的な回答の割合が高い。

「今の家庭生活が楽しい」と感じている子供は、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答する傾向がみられ、また、「家族は、自分のことをほめてくれる」と回答している子供は、「今の家庭生活が楽しい」と感じている傾向がみられる。

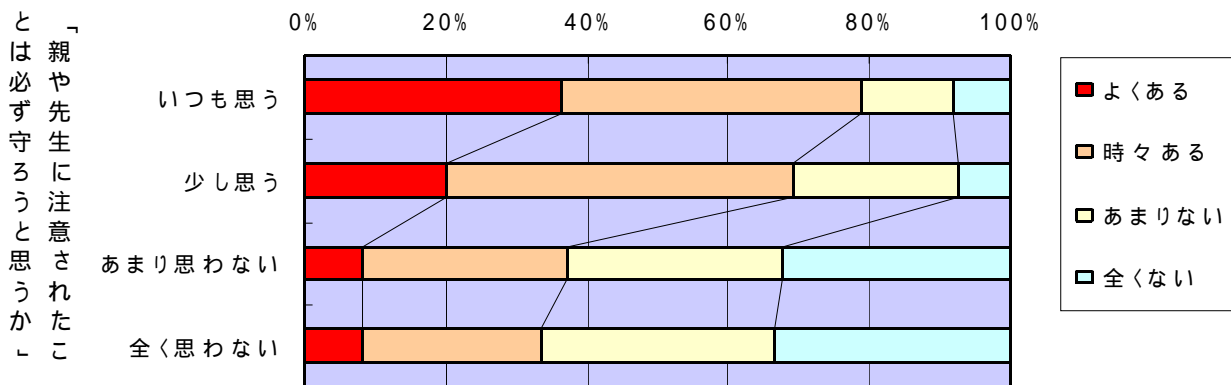
Q29 子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがありますか？

Q30 あなたは、事件や事故の被害を受けないようにするために、先生や家族に注意されたことは、必ず守ろうと思いますか？

Q29「事件等について家族で話すことがあるか」と
Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」
との相関



Q30「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」と
Q29「事件等について家族で話すことがあるか」
との相関



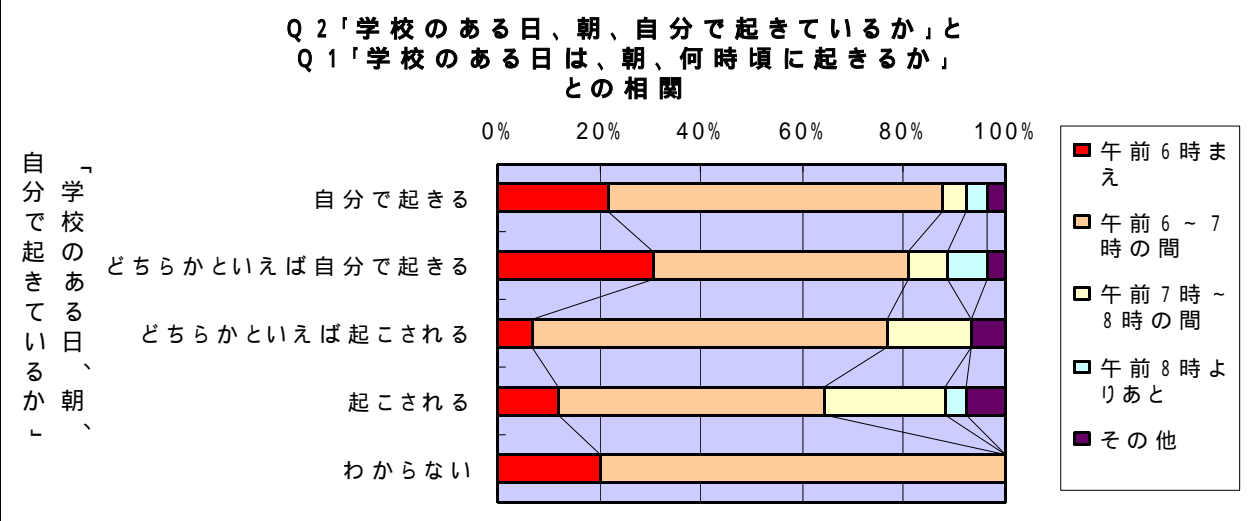
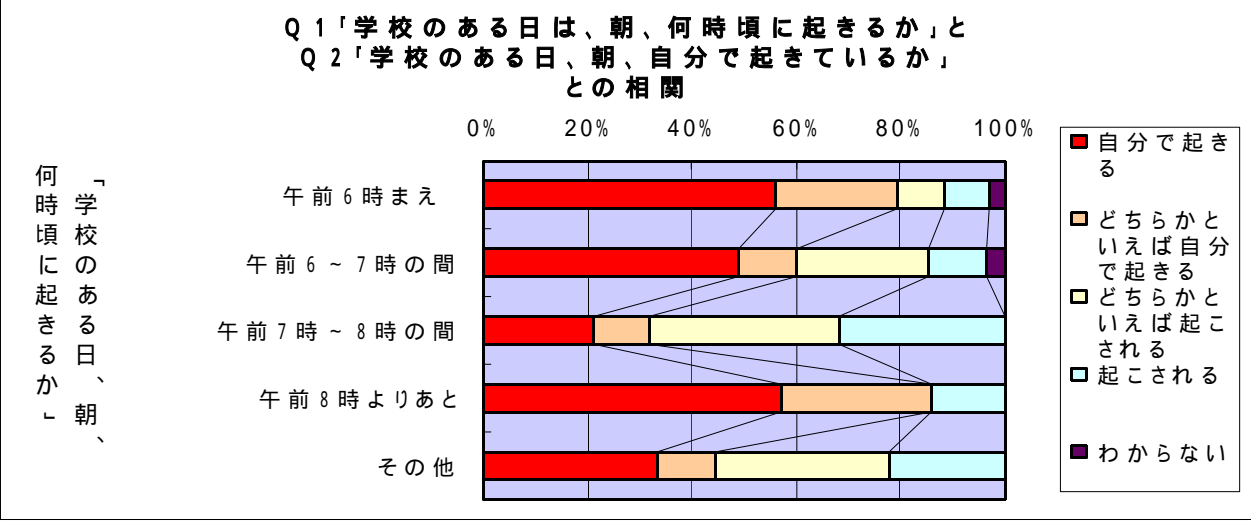
【Q29 ⇨ Q30】「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」といつも思っている」「少し思っている」という回答の割合が高い。

【Q30 ⇨ Q29】「親や先生に注意されたことは、必ず守ろうと思うか」という設問に対して、「いつも思っている」「少し思っている」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすることがよくある」「時々ある」という回答の割合が高い。

「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をすること」がある子供は、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思う傾向がみられ、また、「親や先生に注意されたことは、必ず守ろう」と思っている子供は、「子供が被害にあった事件や事故について、家族で話をしている」実態がうかがえる。

Q 1 学校のある日は、朝、だいたい何時ころに起きますか？

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？



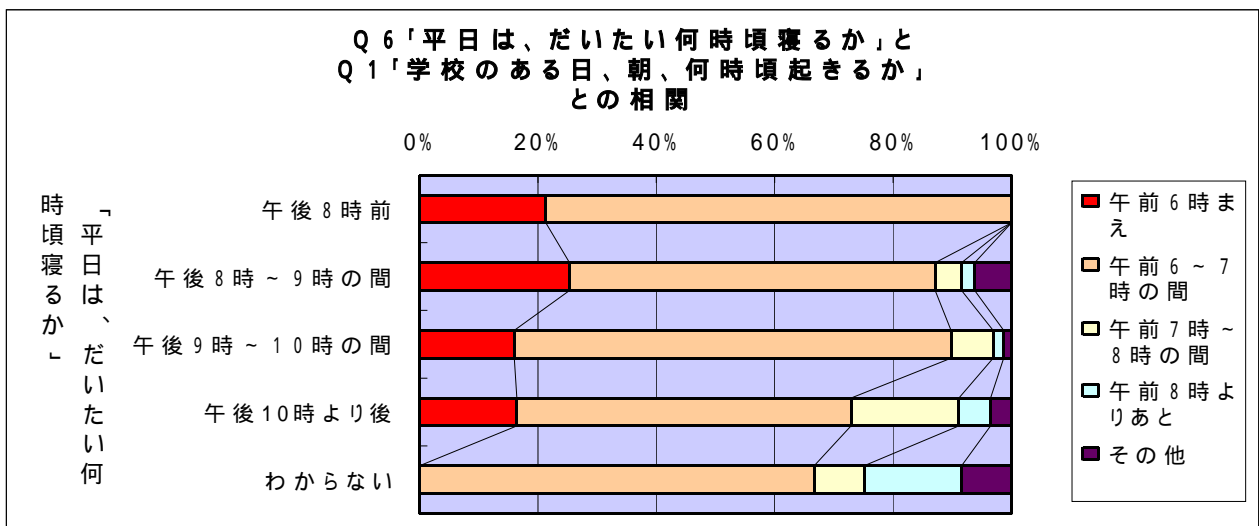
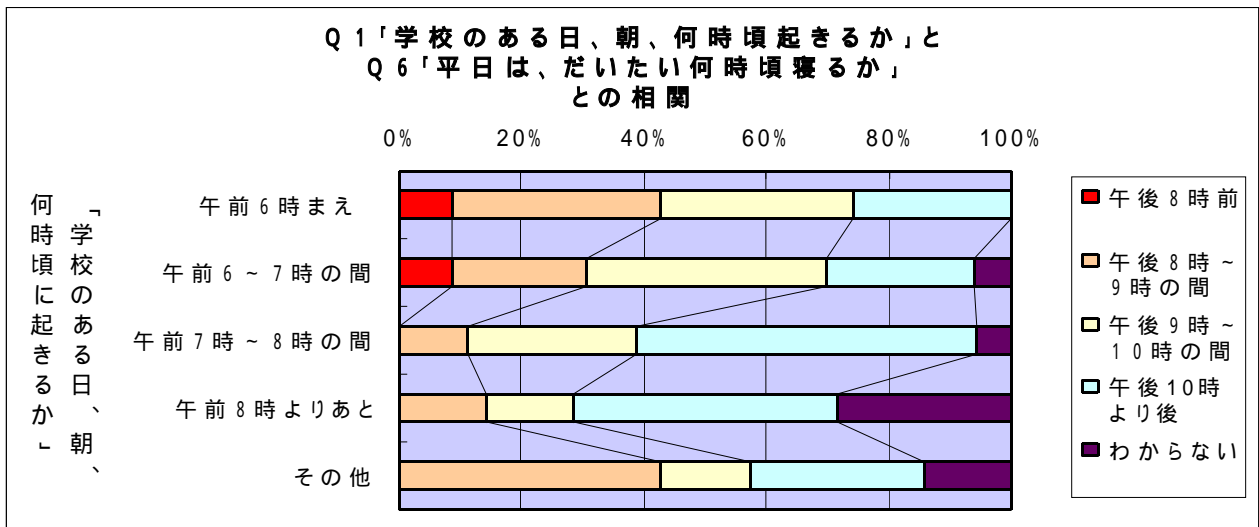
【Q 1 ⇨ Q 2】「学校のある日、朝、何時頃に起きますか」という設問に対して、「午前6時前」に起きると回答した子供の8割が「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という回答をしているが、起きる時間が遅くなると、「自分で起きる」等の肯定的な回答の割合が減ってくる。「午前8時より後」となると、その割合が8割を超える。

【Q 2 ⇨ Q 1】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問について、「自分で起きる」と回答をした子供は、「午前6時前」「午前6時～7時の間」までに起きる割合が9割近くみられるが、「どちらかといえば自分で起きる」「どちらかといえば起こされる」という選択肢になると、その割合が減少してくる。

「午前6時前」など、より早い時間に起きる子供は、自分で起きる傾向がみられるが、「午前8時より後」に起きる子供でも、自分で起きる割合が高い。また、自分で起きる傾向の子供は、「午前6時前」など、より早い時間に起きる傾向がみられる。

Q1 学校のある日は、朝、だいたい何時ごろに起きますか？

Q6 平日は、夜、だいたい何時ごろに寝ますか？



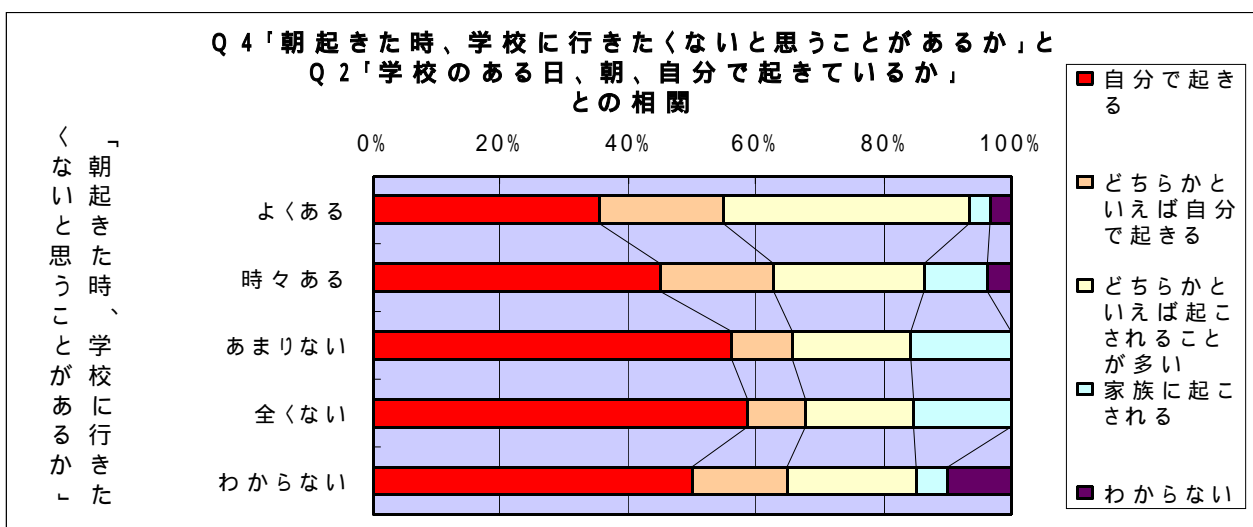
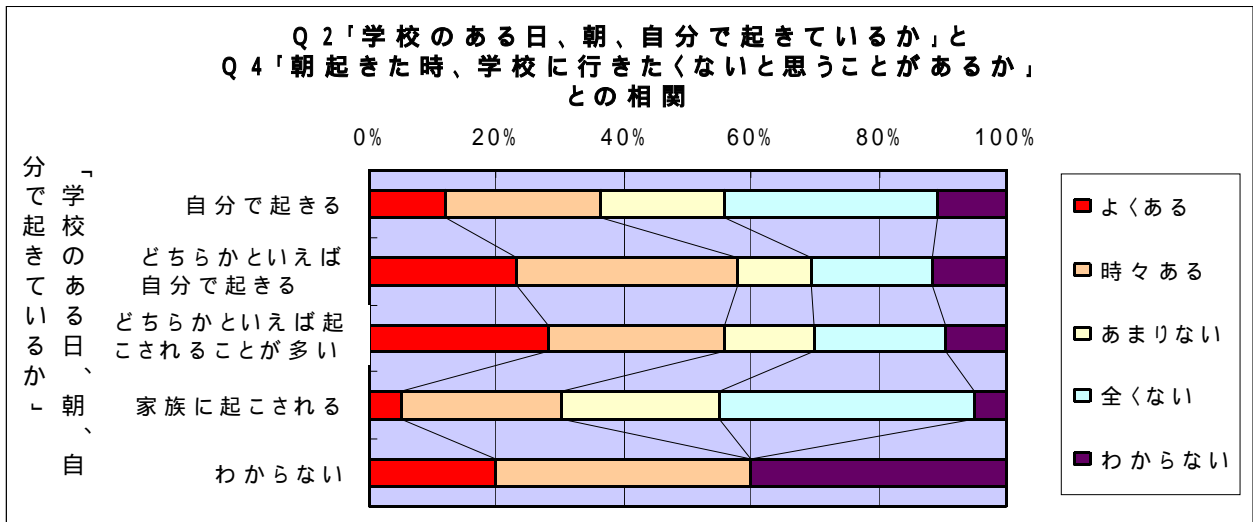
【Q1 ⇨ Q6】「学校のある日、朝、何時頃に起きるか」という設問に対して、「午後6時前」に起きると回答した子供の約7割は、「午後10時までに寝ているが、起きる時間が遅くなるほど、その割合は減少する。

【Q6 ⇨ Q1】「平日は、だいたい何時頃寝るか」という設問に対して、選択肢にかかわらず「午後8時前」に寝ると回答した子供は約2割みられる。「午前6時前」「午前6時～7時の間」に起きる子供を合わせた割合は、「午後8時前」に寝ると回答した子供のすべてのぼり、減る時間が遅くなると、その割合も少なくなる。

「午前6時前」など、早い時間に起きる子供ほど、おおむね早い時間に寝る傾向がみられ、また、「午後8時前」など、早い時間に寝る子供は、おおむね早い時間に起きる傾向がみられる。

Q 2 学校のある日、朝、家族の人に起こされずに自分で起きていますか？

Q 4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



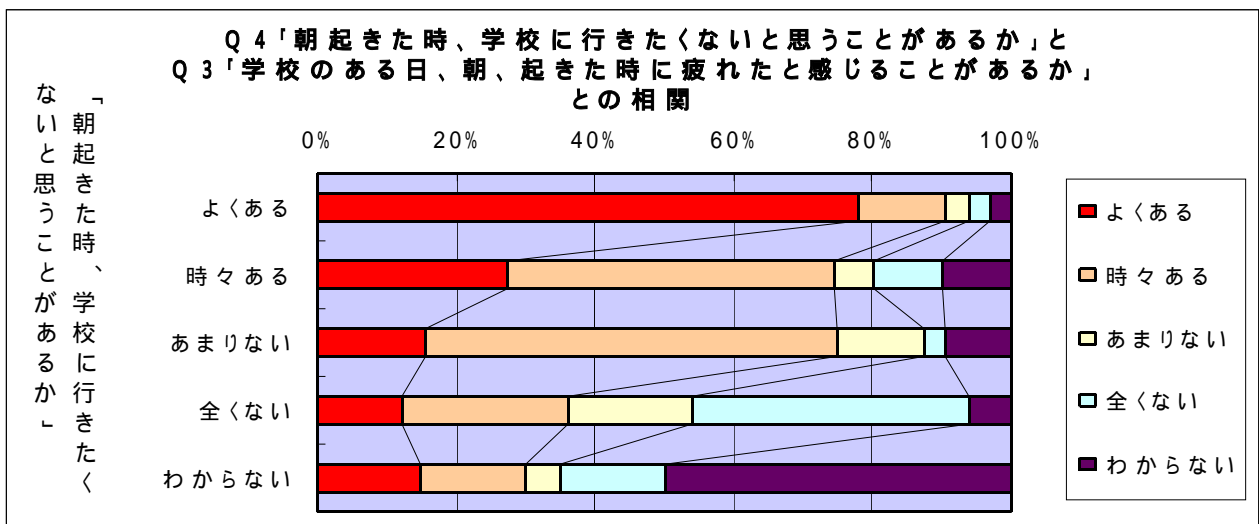
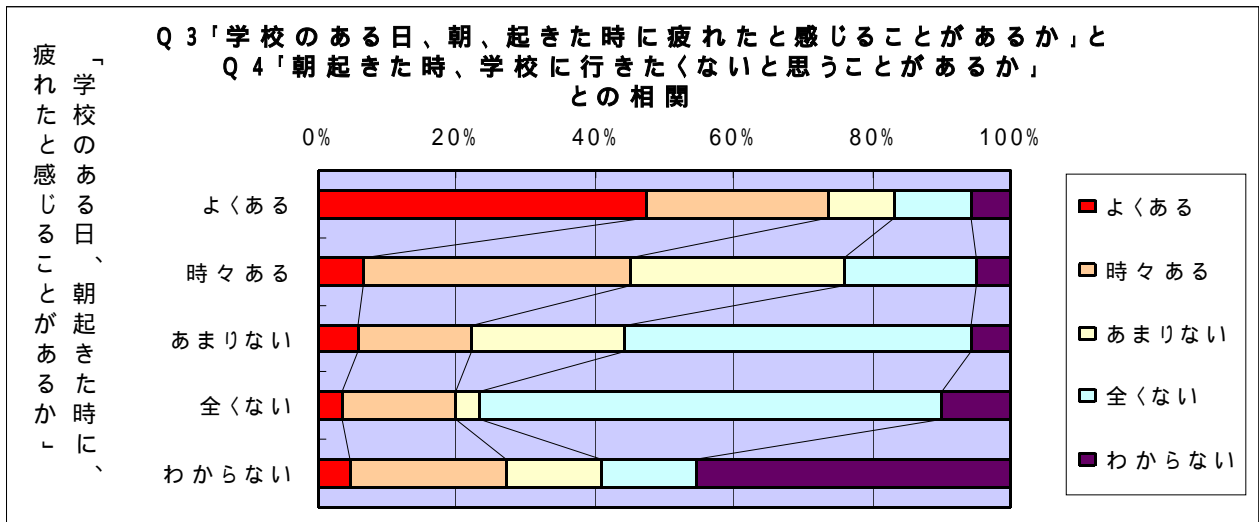
【Q 2 ⇨ Q 4】「学校がある日、朝、自分で起きているか」という設問に対して、「どちらかといえば自分で起きる」「どちらかといえば起こされることが多い」という回答をした子供は、「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q 4 ⇨ Q 2】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「自分で起きる」「どちらかといえば自分で起きる」という肯定的な回答の割合が比較的低い。

朝、自分で起きたり、起こされたりする中間的な回答の子供は、「朝、学校に行きたくないと思う」傾向が比較的多くみられる。また、「朝、学校に行きたくないと思う」ことがある子供は、「朝、起こされる」傾向がみられる。

Q3 学校のある日、朝起きた時に疲れていると感じることがありますか？

Q4 朝起きた時、学校に行きたくないと思うことがありますか？



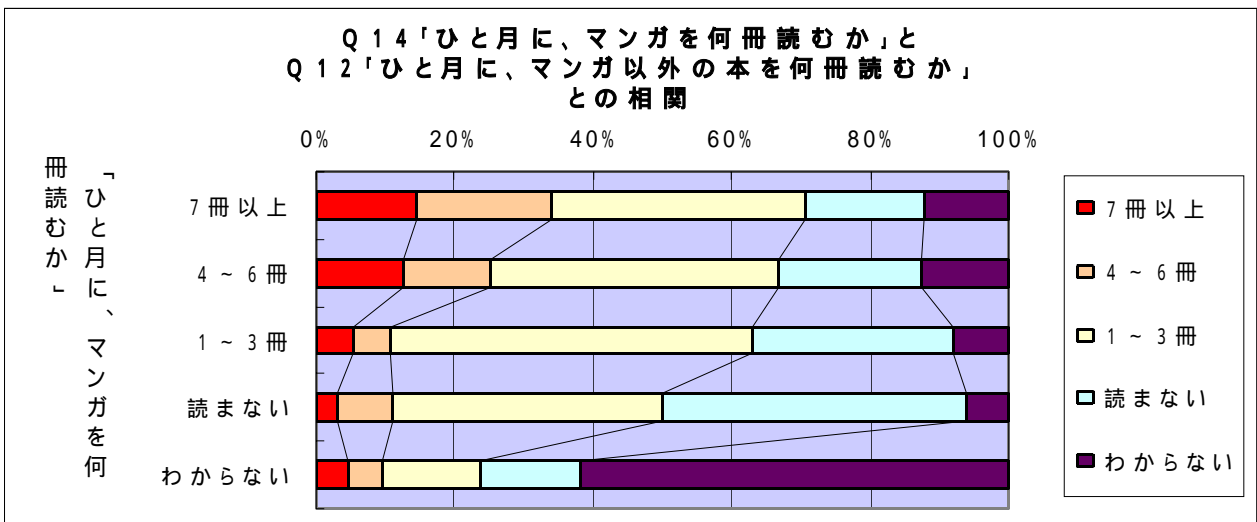
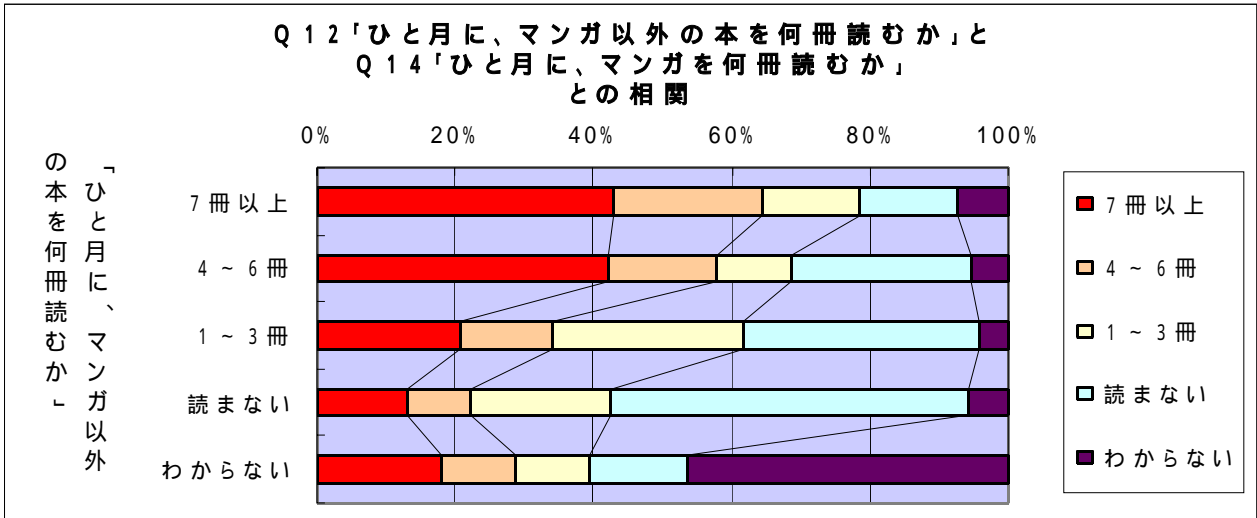
【Q3 ⇨ Q4】「朝、起きたとき疲れたと感じることがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、学校に行きたくないと思うことがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q4 ⇨ Q3】「朝、学校に行きたくないと思うことがあるか」という設問に対して、「よくある」「時々ある」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より「朝、起きたとき疲れたと感じることがよくある」「時々ある」という肯定的な回答の割合が比較的高い。

「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」子供は、「朝、学校に行きたくないと思うことがある」という傾向がみられ、また「朝、学校に行きたくないと思うことがある」子供は、「朝、起きたとき疲れたと感じることがある」という傾向がみられる。

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？

Q14 ひと月に、何冊くらいマンガ本を読みますか？



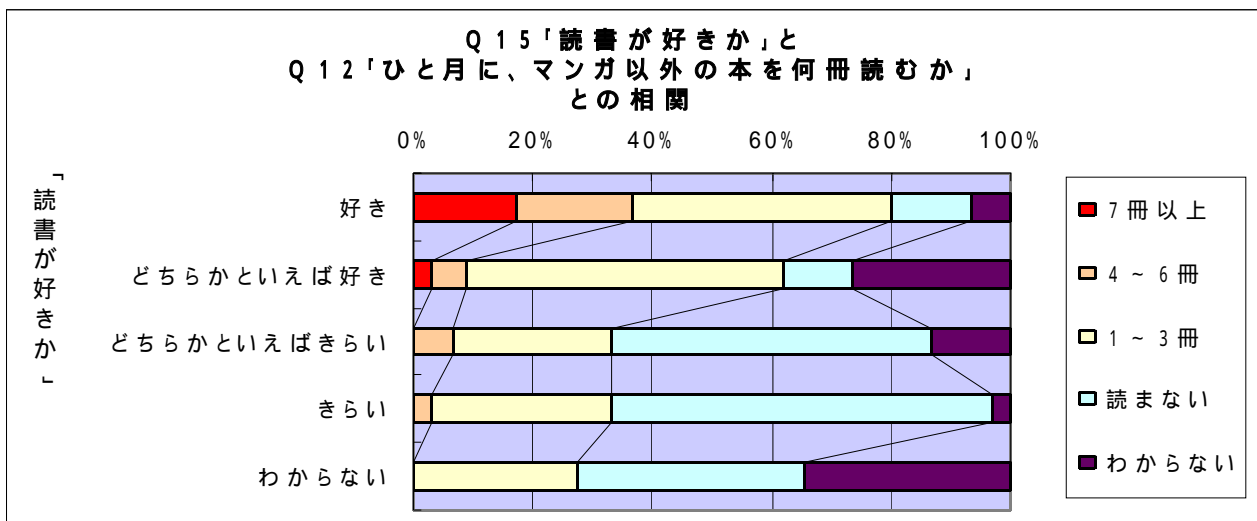
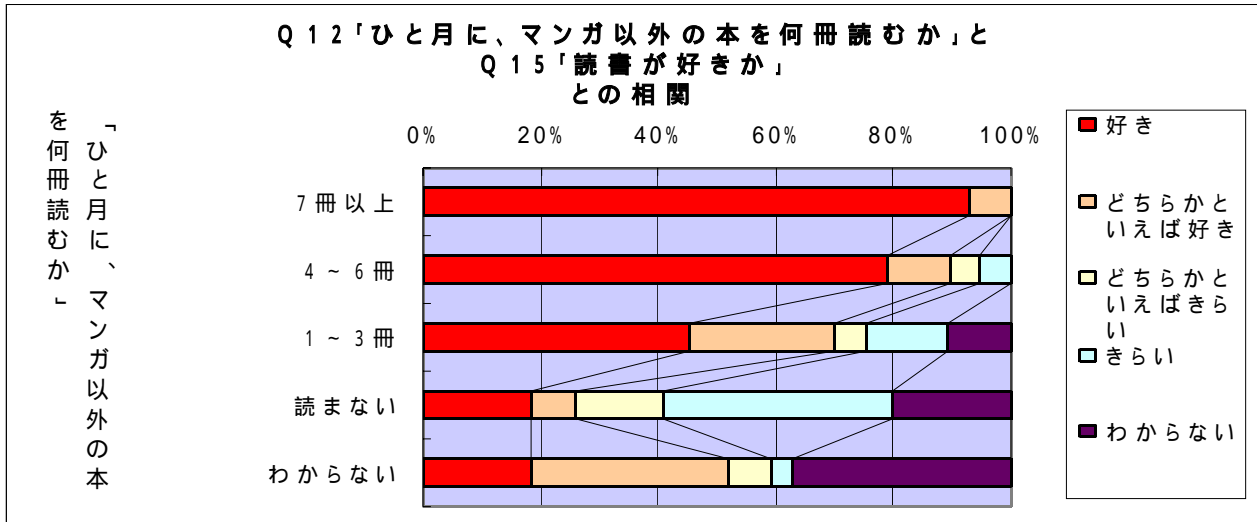
【Q12 ⇨ Q14】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」という設問において、マンガ以外の本を「7冊以上」読む子供は、「7冊以上」「4～6冊」のマンガを読んでいる割合も多く、マンガ以外の本を読む冊数が減ると、その割合も減ってくる。

【Q14 ⇨ Q12】「ひと月に、マンガを何冊読むか」という設問において「7冊以上」「4～6冊」という回答をした子供は、「1～3冊」「読まない」という回答の子供より、「マンガ以外の本を読む」割合が高い。

マンガ以外の本を多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多くを読む傾向がみられる。また、マンガを多く読む子供は、マンガ以外の本も比較的多く読む傾向がみられる。

Q12 ひと月に、何冊くらい絵本や物語、小説など、マンガ以外の本を読みますか？

Q15 あなたは、読書が好きですか？



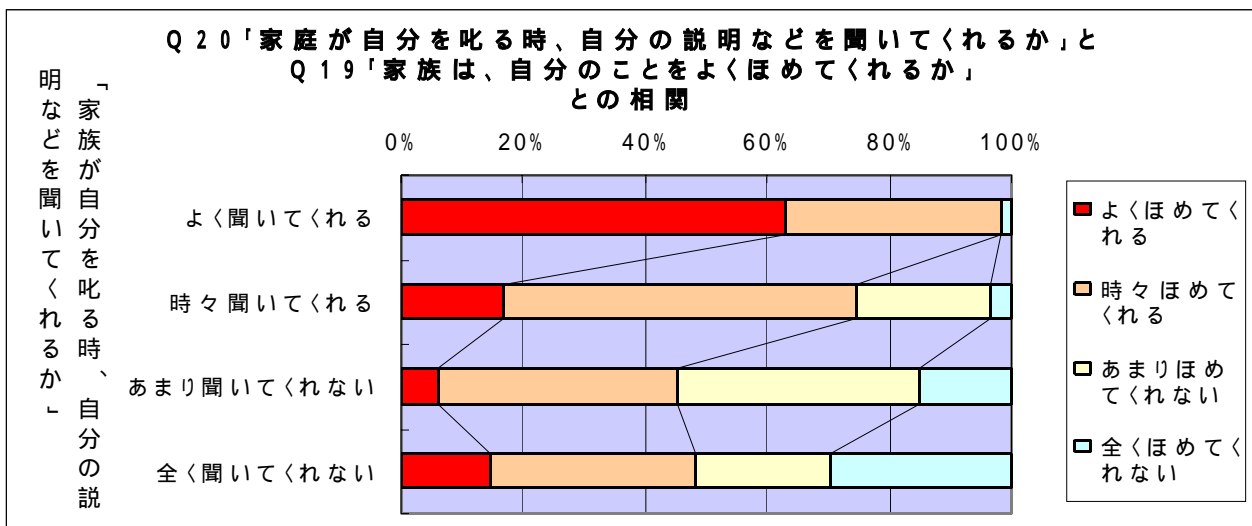
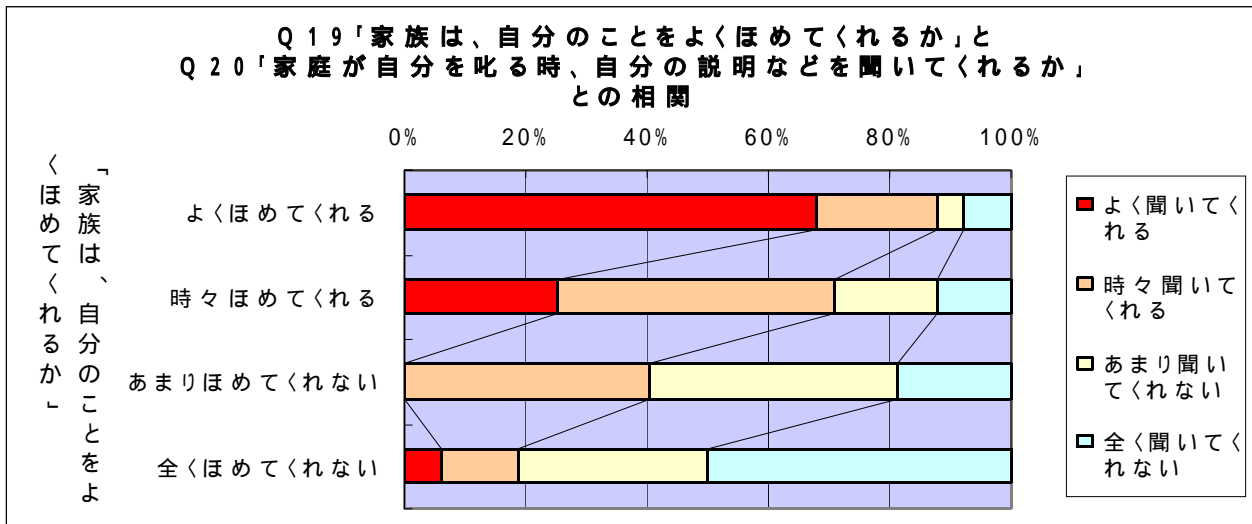
【Q12⇨Q15】「ひと月に、マンガ以外の本を何冊読むか」という設問において、マンガ以外の本を「7冊以上」読む子供のすべてが、「読書が好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答であり、マンガ以外の本を読む冊数が減ると、その割合も減ってくる。

【Q15⇨Q12】「読書が好きか」という設問において、「好き」「どちらかといえば好き」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、マンガ以外の本を読む割合が高い。「どちらかといえばきらい」「きらい」という子供における「マンガ以外の本を読まない」割合が「読む」という回答の割合より多い。

マンガ以外の本を多く読む子供は、読書が好きである傾向がみられ、また、読書が好きである子供は、マンガ以外の本も比較的多く読む傾向がみられる。

Q19 あなたの家族は、あなたのことをよくほめてくれますか？

Q20 あなたの家族があなたを叱る時あなたの説明や理由を聞いてくれますか？



【Q19 ⇨ Q20】「家族は、自分のことをよくほめてくれるか」という設問に対して、「よくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「自分の説明などをよく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

【Q20 ⇨ Q19】「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれるか」という設問に対して、「よく聞いてくれる」「時々聞いてくれる」という肯定的な回答をした子供は、否定的な回答の子供より、「家族は、自分のことをよくほめてくれる」「時々ほめてくれる」という肯定的な回答の割合が高い。

「家族は、自分のことをよくほめてくれる」と感じている子供は、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている傾向がみられ、また、「家族が自分を叱る時、自分の説明などを聞いてくれる」と感じている子供は、「家族は、自分のことをよくほめてくれる」と感じている傾向がみられる。